
令和3年度 産民学官・政策課題共同研究

①小規模自治体における地域の担い手創出

～ないものねだりより、地域のあるものさがし～

チーム名 「地域あるものさがし」

・株式会社 武蔵野銀行 渡邊 優理恵
・埼玉県 後藤 千夏子
・春日部市 谷島 良和

・三郷市 齊藤 寛之
・杉戸町 長岡 孝之



彩の国さいたま人づくり広域連合





東秩父村

- いま、東秩父村で起きていること【現状】
- 東秩父村で言われたこと【課題】
- 東秩父村×旅するムサビプロジェクト【政策提言】



吉見町

- いま、吉見町で起きていること【現状】
- 吉見町で言われたこと【課題】
- 吉見いちごサポータープロジェクト【政策提言】







地域の中に
既にあるもの

×

地域の外に
既にあるもの



新たな”魅力”と”担い手”を創出

提言1

東秩父村における担い手創出



東秩父村



埼玉県内で最も人口の少ない自治体



ある意味、「担い手不足の先進自治体」



他の自治体においても参考になるはず



東秩父村に行ったことはありますか？



引用: 東秩父村公式観光サイト

埼玉県で**唯一**の村

全63自治体のうち
40市22町**1村**

村民人口 **2,642**人

※ 令和3年12月1日現在



魅力あふれる東秩父村



東秩父村 和紙の里

日本庭園にある
紙漉き家屋



シャーレーポピー

壮大で真っ赤
1500万本を超える



白石キャンプ場

大自然に囲まれた
槻川源流にある

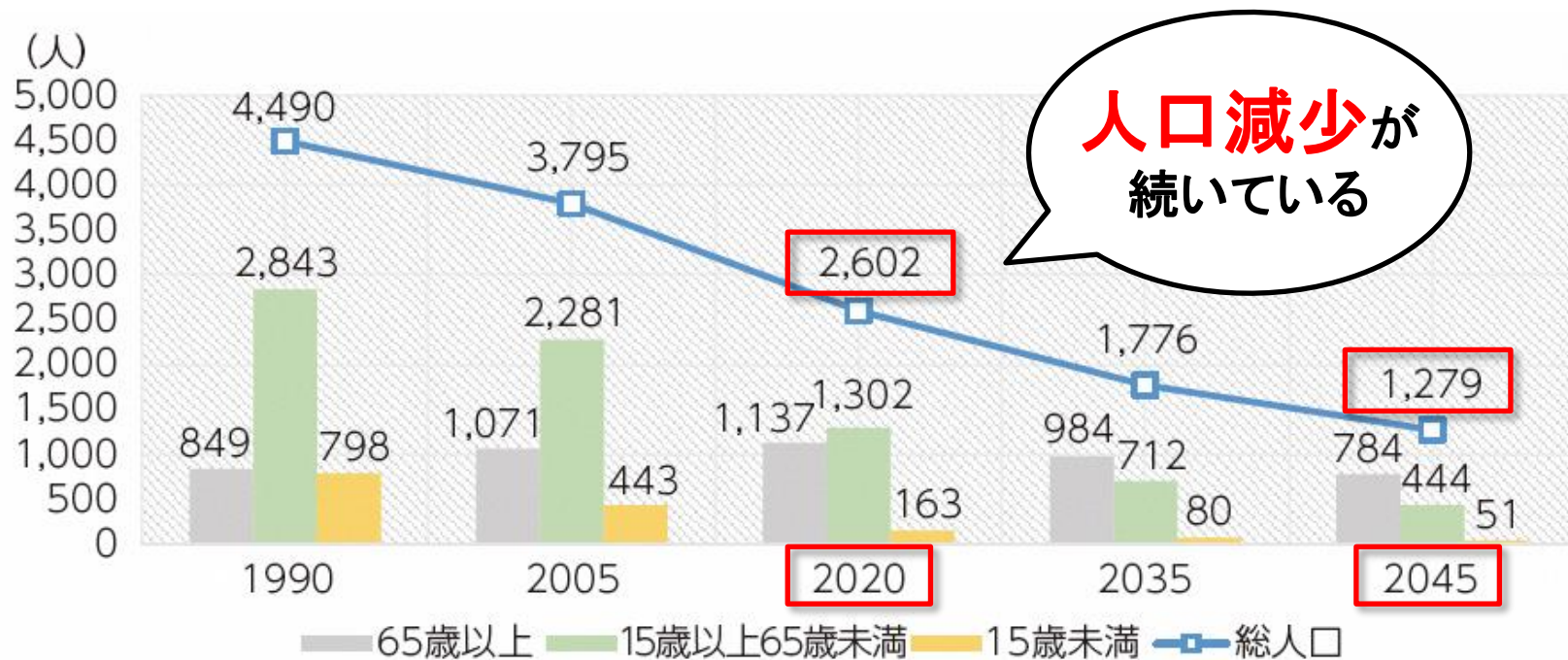


引用：武蔵野銀行ホームページより

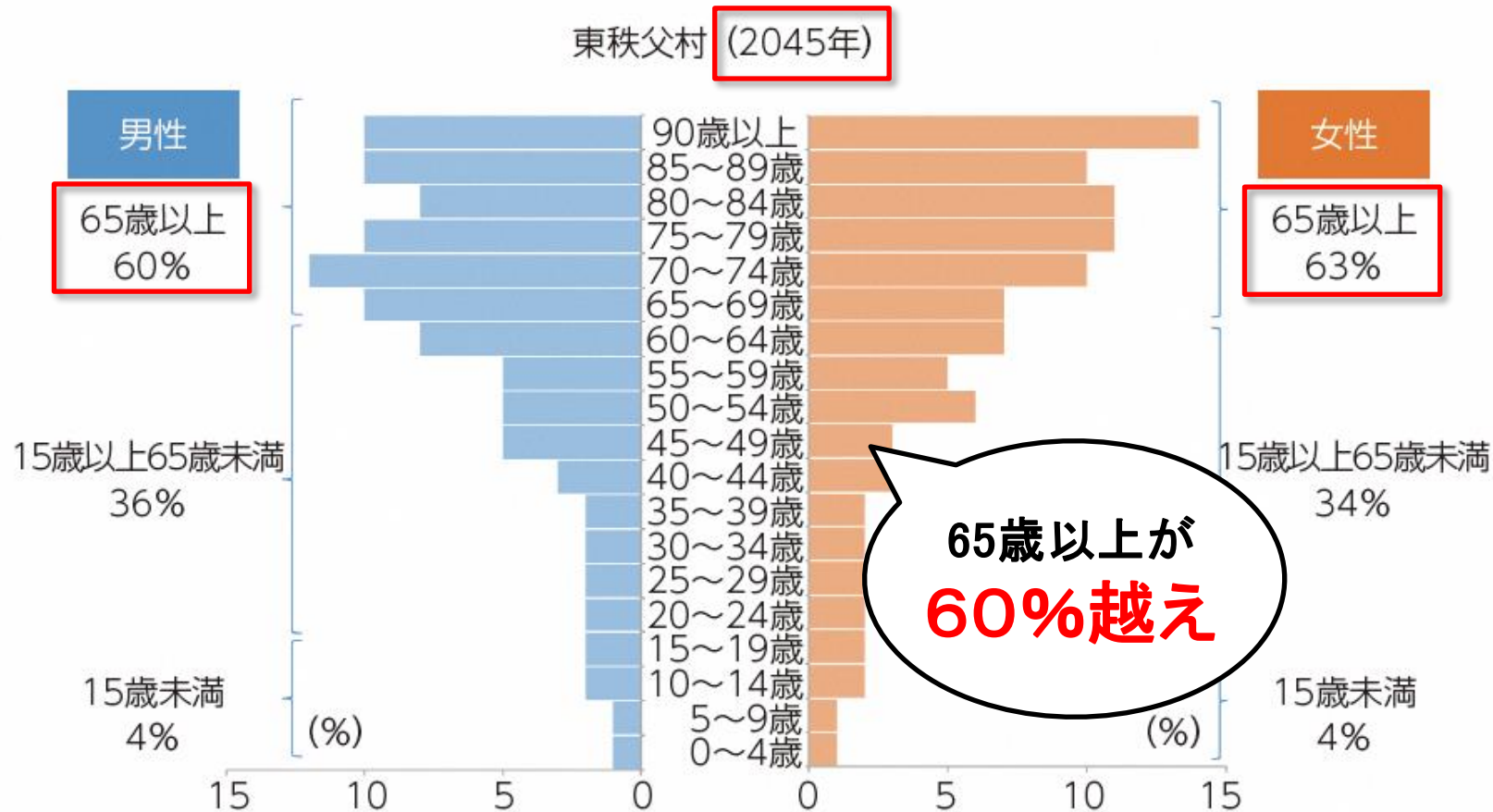
 武蔵野銀行

細川紙を
新社屋大会議室の
内装に採用

東秩父村 総人口の推移及び推計人口



いま、東秩父村で起きていること





東秩父村に行ってきました



令和3年11月11日 東秩父村「和紙の里」にて撮影



東秩父村で言われたこと



令和3年11月11日 東秩父村役場にて撮影

高齢化が進み、地域に
若者が少ない

行政は人手不足で
地域活動の担い手も不足

関係人口や交流人口を
増やしたい



東秩父村で言われたこと

高齢化が進み、地域に
若者が少ない



地域の外から
学生に来てもらおう！

行政は人手不足で
地域活動の担い手も不足



地域の人と外から来た
学生が一緒に活動！

関係人口や交流人口を
増やしたい



将来的に、東秩父村の
関係人口になり得る！

ターゲットは

埼玉県内もしくは都内在住の大学生

- 県内、都内なら日帰りが可能（池袋から約2時間）
- 地方創生関係学部が豊富
- 全国の市町村から毎年学生が集まる



東秩父村の魅力の1つ、

和紙を使って何かできないか？



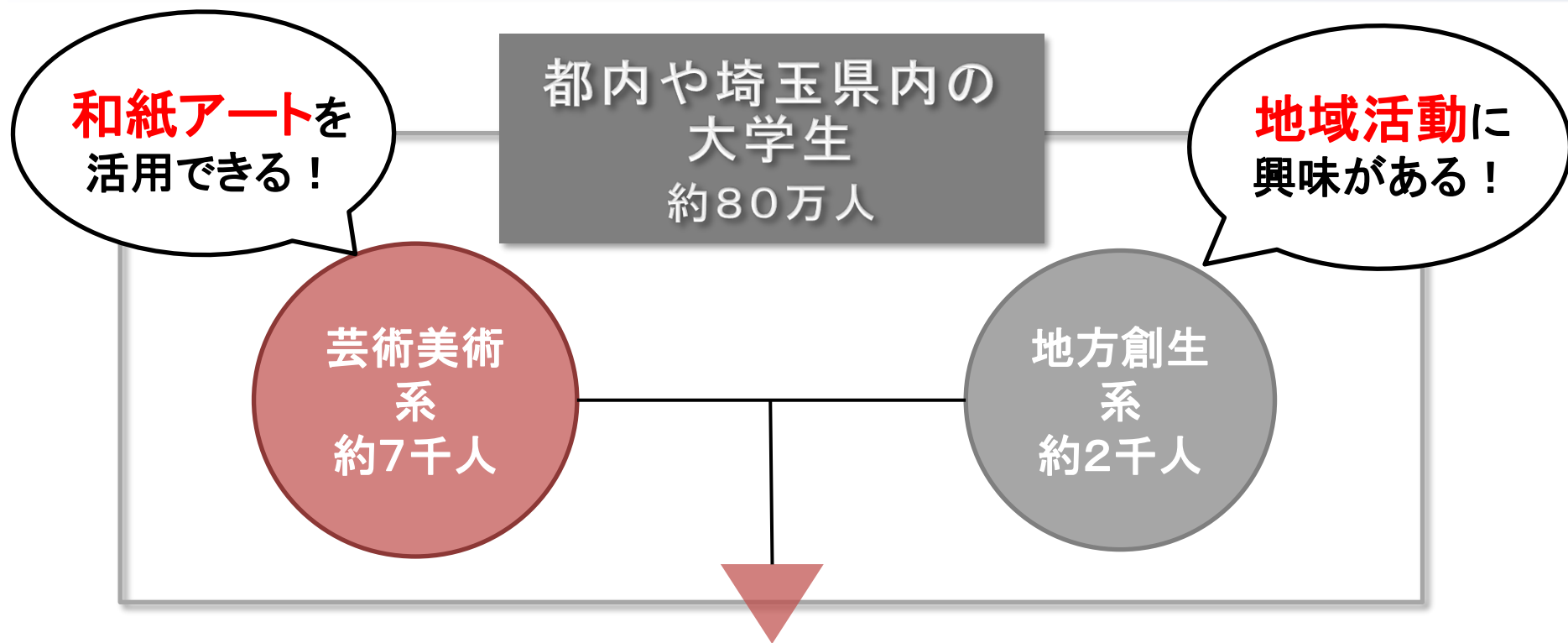
そこで思いついたのが...



和紙 × アート



具体的なターゲットになりうるのは？（東秩父村）





旅するムサビプロジェクトを知っていますか？

武蔵野美術
大学

旅するムサビプロジェクト



黒板ジャック



旅ムサステイ



ワークショップ

引用：武蔵野美術大学ホームページ



①地域交流拠点を作る



引用: 東秩父村公式観光サイト

学生が地域の人と**交流**
できる**拠点**を作る

行政が借り上げるなどで
空き家を手配

学生のアイデアで
リノベーション

②交流を深める



引用: 武蔵野美術大学ホームページ

月に一度、学生が訪れ、
親睦を深める

定期的に通うことで、
顔の見える関係を構築

学生もしくは地域の人から
キーマンを出す

③一緒に活動する



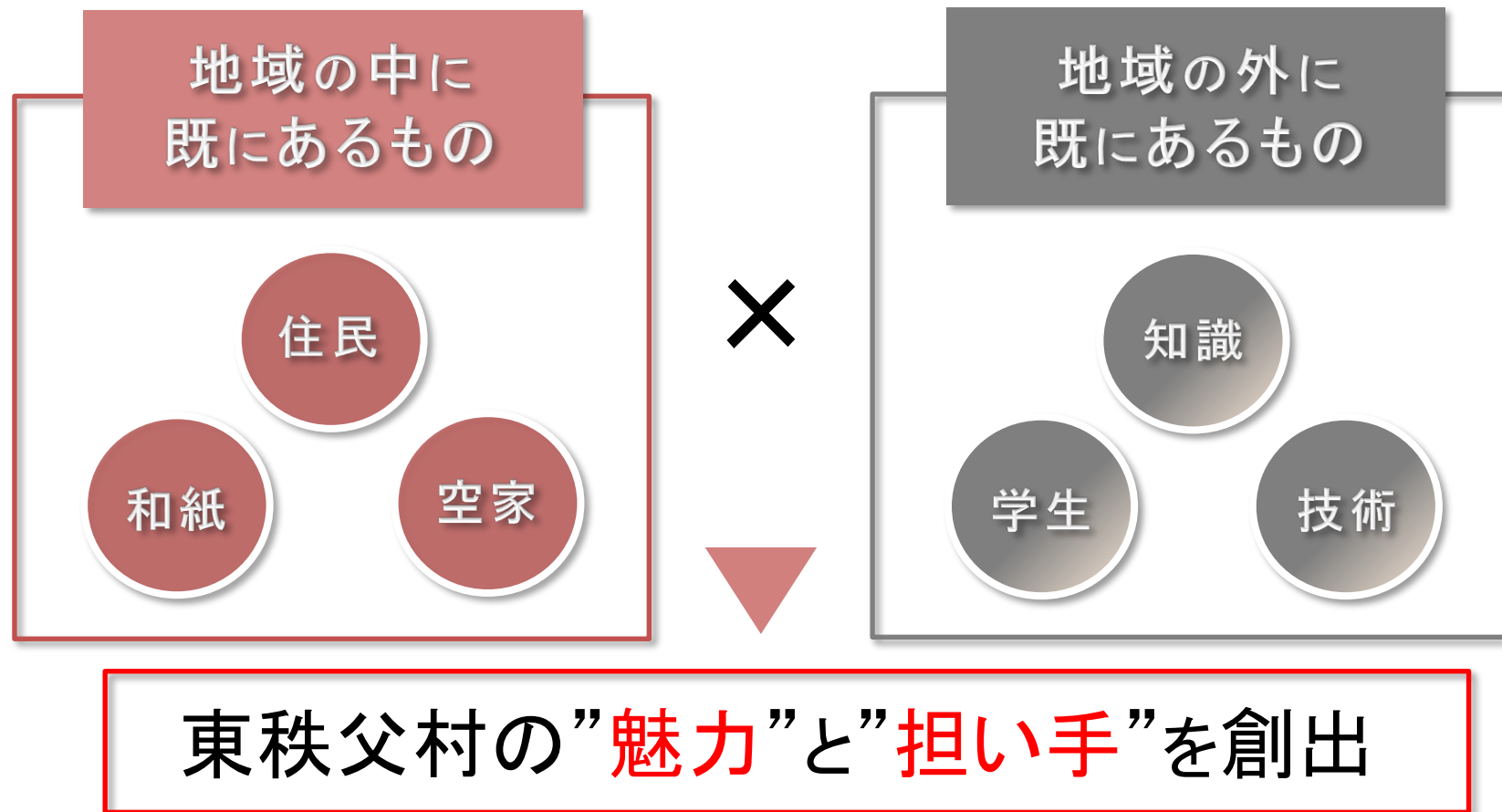
引用: 東秩父村公式観光サイト

和紙フェス2019 ランタンナイト

学生と地域の人による
活動を実行に移す

企画の段階から
学生と地域の人に関わる

行政は費用、人の面で
お膳立てしすぎない



提言2

吉見町における担い手創出



突然ですが、クイズです。

● 餃子といえば・・・



宇都宮、浜松

● みかんといえば・・・



愛媛、静岡

● いちごといえば・・・



？



突然ですがクイズです。

いちごといえば・・・

吉見町

引用：吉見町ホームページより



吉見町を知っていますか？



埼玉県
◆ 吉見町

埼玉県のほぼ中央！

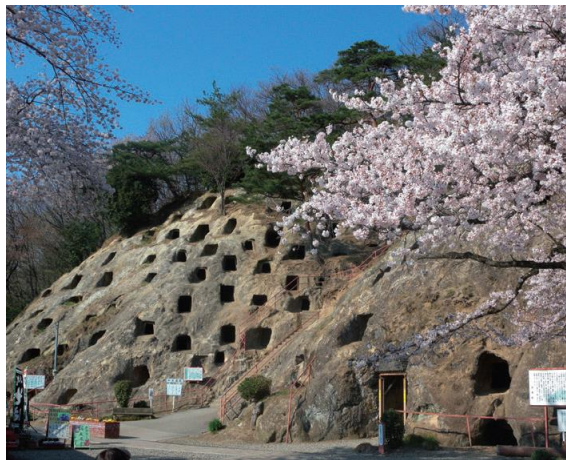
都心から50km圏内

町民人口 18,390人

※ 令和4年1月1日現在

引用：吉見町ホームページより

吉見のいちごを知っていますか？



吉見百穴



吉見いちご
ジェラート「こいいちご」



道の駅
いちごの里よしみ



吉見町



人口推計よりも減少が進んでいる町である

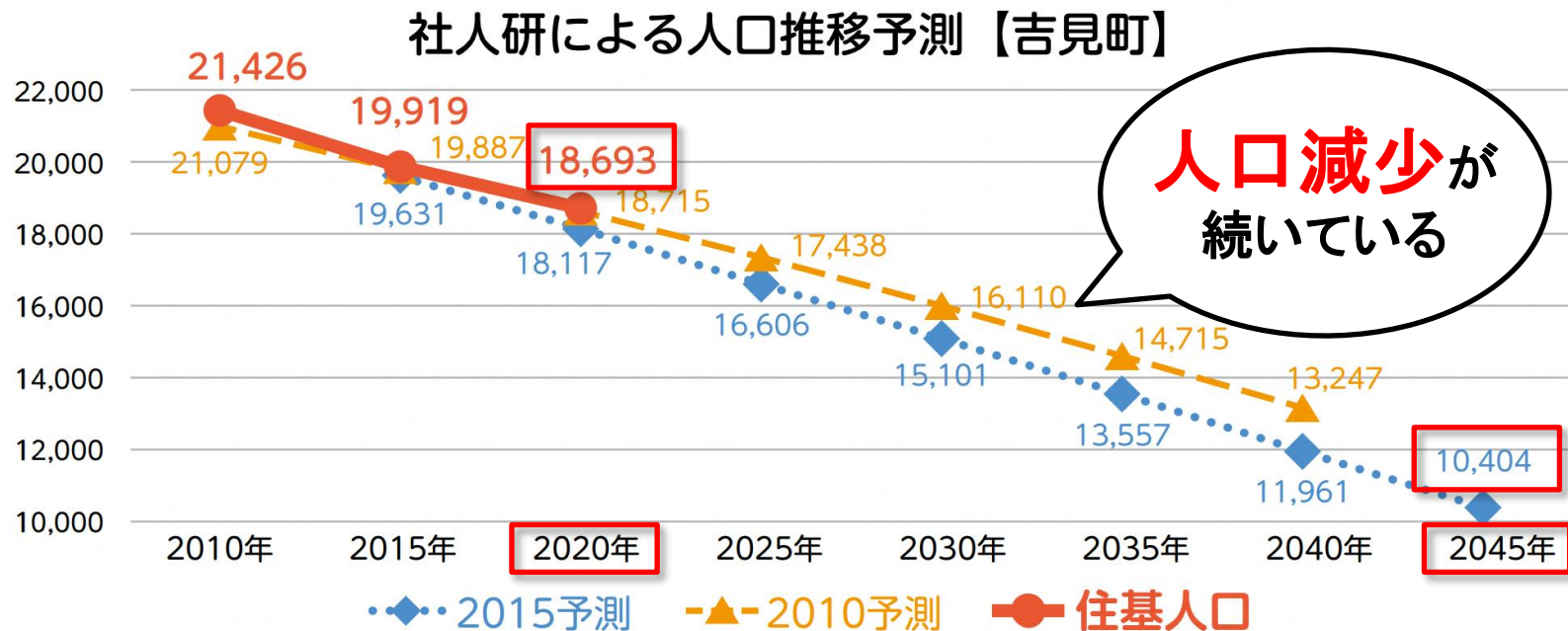


人口が減少しても、町を応援する人を増やす

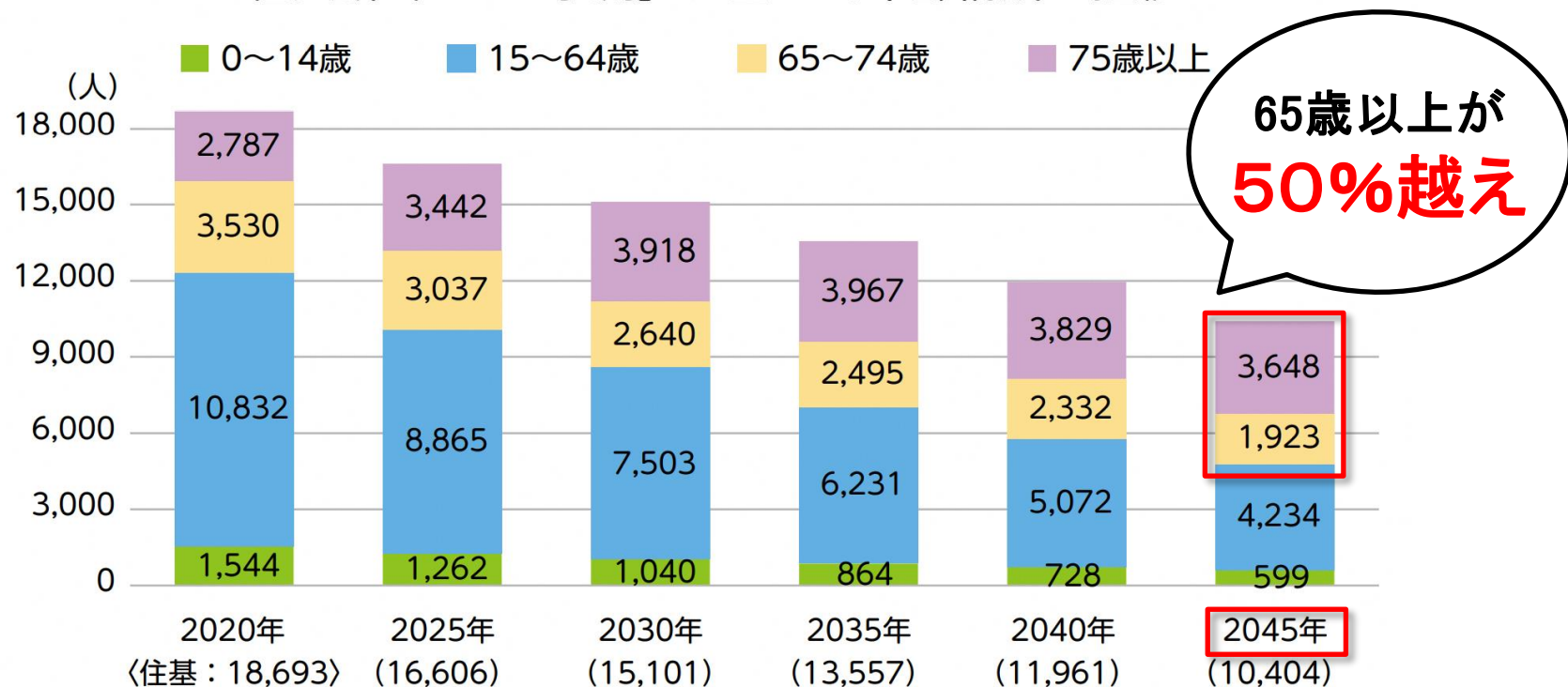


他の自治体においても参考になるはず

いま、吉見町で起きていること



社人研「2015予測」に基づく年齢構成の推移





吉見町に行ってきました



令和3年11月15日 吉見町「いちごの里よしみ」にて撮影



吉見町で言われたこと



令和3年11月15日 吉見町役場にて撮影

外の人が町を取り上げる
ことで町民に喜んでほしい

良いまちにするために
活動する人を増やしたい

町の外と中の人
が刺激し合うことが必要



吉見町で言われたこと

外の人が町を取り上げる
ことで町民に喜んでほしい



いちごファンや元町民に
協力してもらおう！

良いまちにするために
活動する人を増やしたい



企業・商工団体や
いちご農家に協力を！

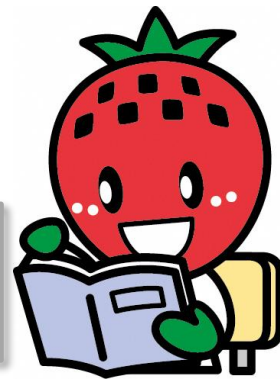
町の外と中の人
が刺激し合うことが必要



地域おこし協力隊と地域
の人が一緒に活動！

ターゲットは

吉見町の外にいるいちごファン



- 町の外に吉見いちごファンを作り、関係人口を増やす
- 吉見いちごファンが町の外から情報発信
- 吉見町を訪れる人やふるさと納税者が増えるかも



では、一体誰が担い手となりうるのか？

吉見いちごサポータープロジェクト



吉見のいちごを・・・



好きになってもらうことで関係人口を増やす



キーマンは・・・？

地域おこし協力隊

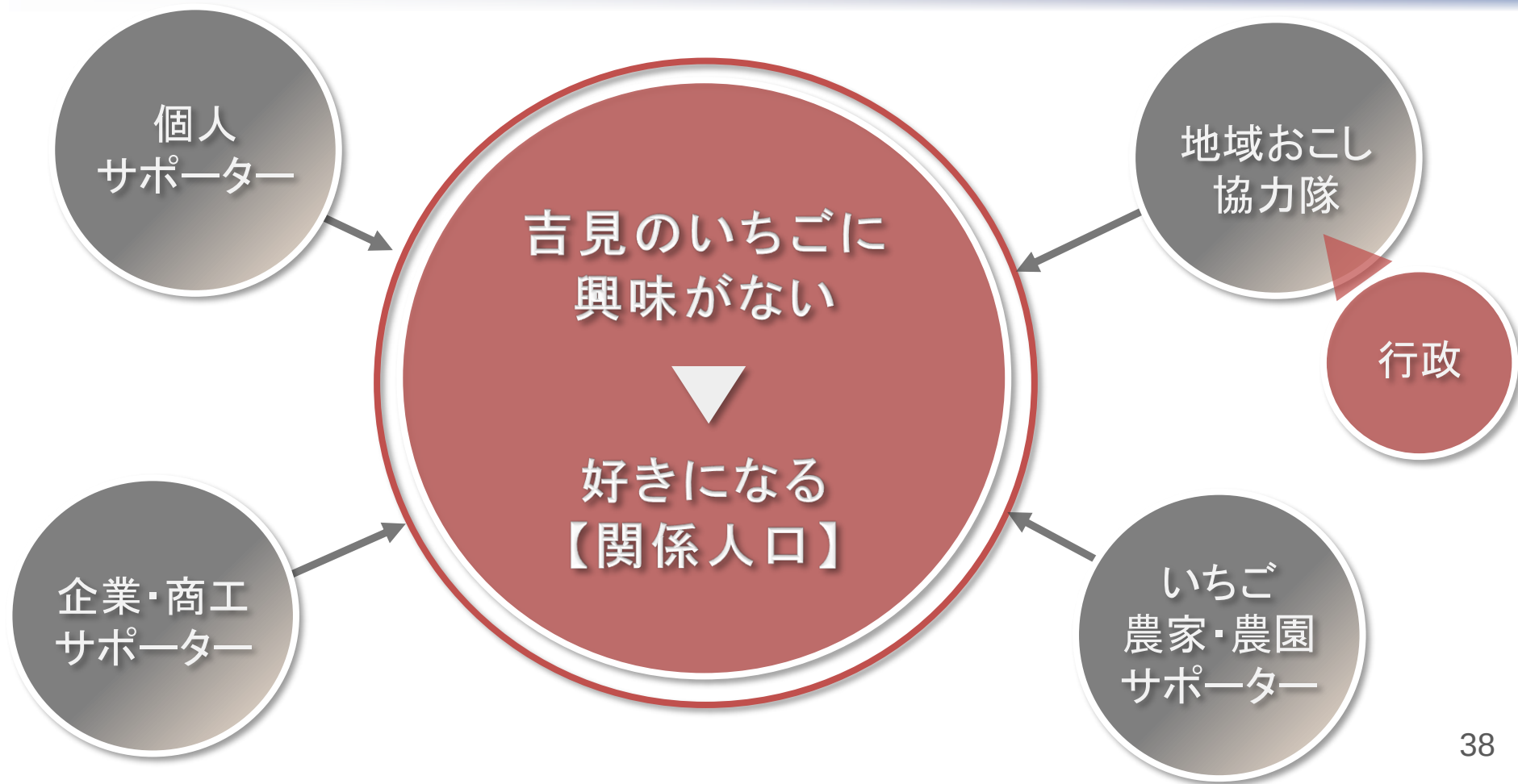


担い手は・・・？

個人、農家・農園、企業・商工団体



吉見いちごサポータープロジェクト





では、一体誰が担い手となりうるのか？



地域おこし協力隊とは・・・？

- 都市地域から**対象の地域**へ**移住**！
- 地域ブランドのPRなど**地域おこし**を**支援**！
- 隊員の報酬や活動費用などを国が補助！

事業の立ち上げ時には**行政の支援**が必要



核となるのは...

吉見いちごサポータープロジェクトサイト



「いちご＝吉見町」を全国に広めていくために情報発信



でも、**イチ**からサイトを
立ち上げるのはとても**大変**だし、
みんな見てくれるかなあ・・・

だから、既に**あるもの**を使おう！



いま、吉見町で注目を浴びているのが...

寄付額が
昨年の**15倍**！

吉見町ふるさと納税サイト



多くの人がふるさと納税サイトに**アクセス**



吉見町ふるさと納税サイト

+

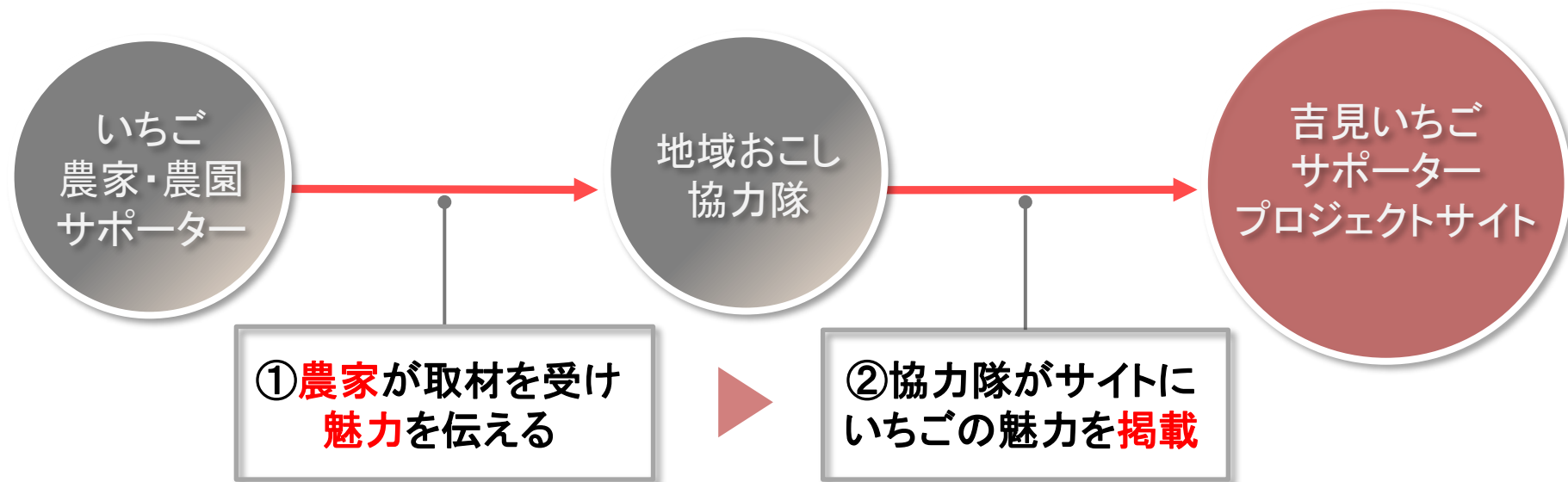
”情報発信”や”関係人口が交流する仕組み”



吉見いちごサポータープロジェクトサイト



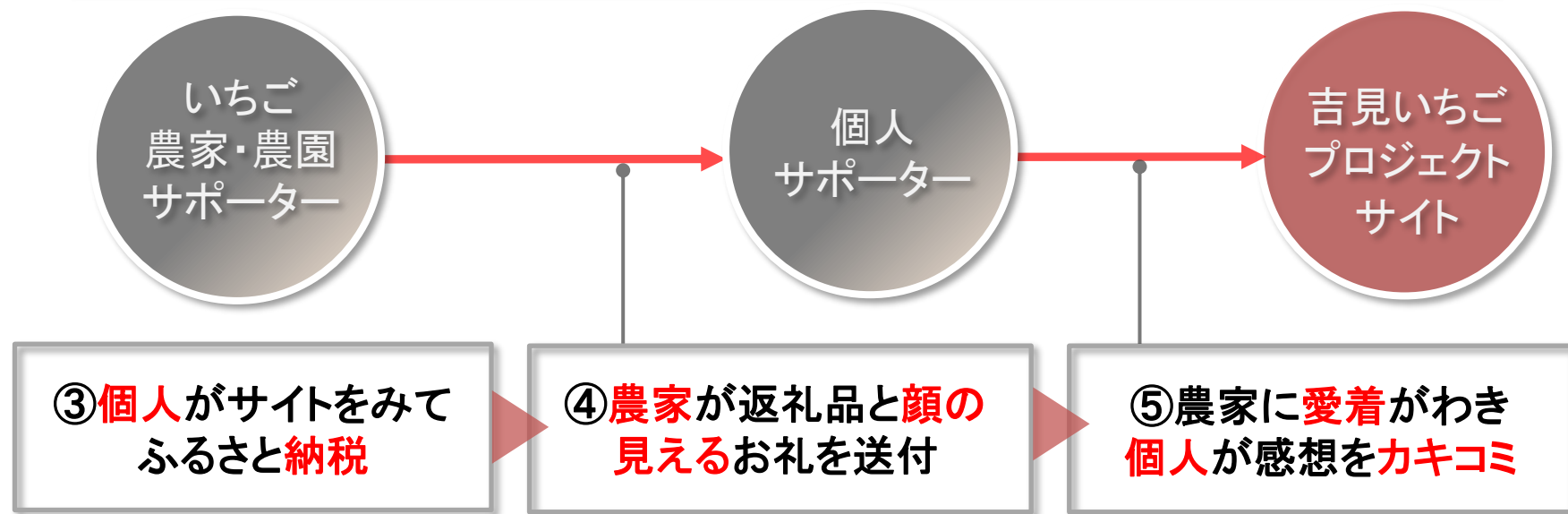
1 いちごの魅力発信プロジェクト



ふるさと納税する人がついでにサイトを閲覧できる



1 いちごの魅力発信プロジェクト



いちごの魅力に対する”町の外の人”の声が集まる



2 学生向けいちご就農体験プロジェクト

就農体験に
興味がある！

都内や埼玉県内の
大学生
約80万人

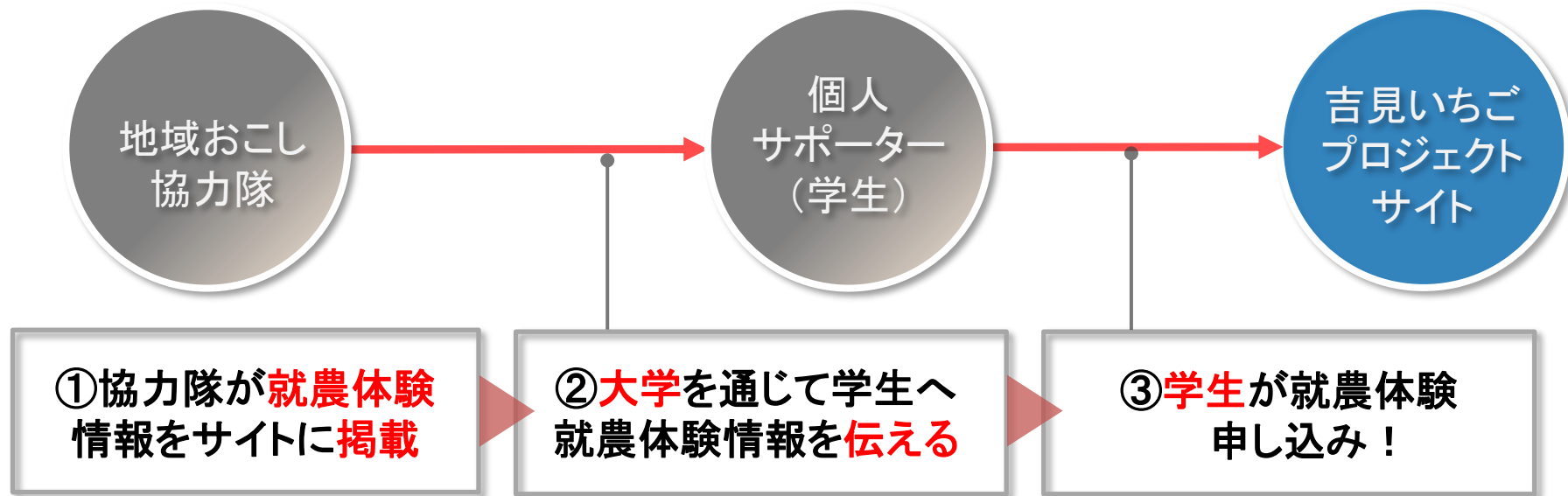
地域活動に
興味がある！

農業栄養
系
約7千人

地方創生
系
約2千人



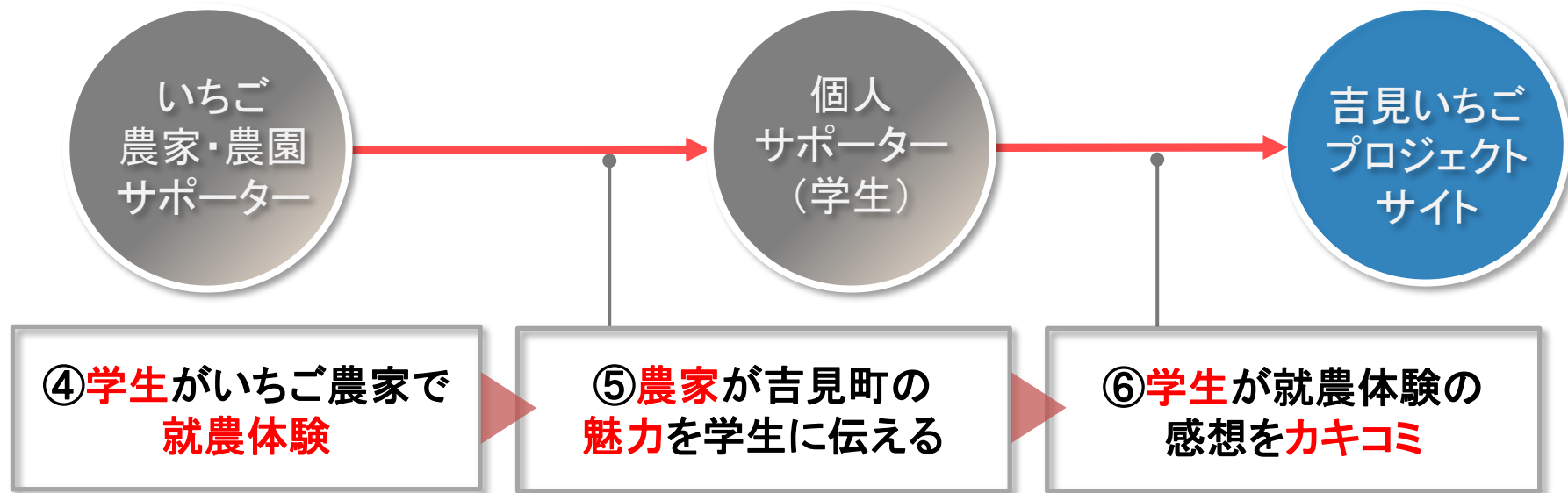
2 学生向けいちご就農体験プロジェクト



サイトを見て興味をもった学生が就農体験に！



2 学生向けいちご就農体験プロジェクト



町の外の学生が感じた町の魅力がサイトに集まる



3 ふるさと納税返礼品創出プロジェクト



関係人口(ファン)が集まって、新たな魅力を作ろう！



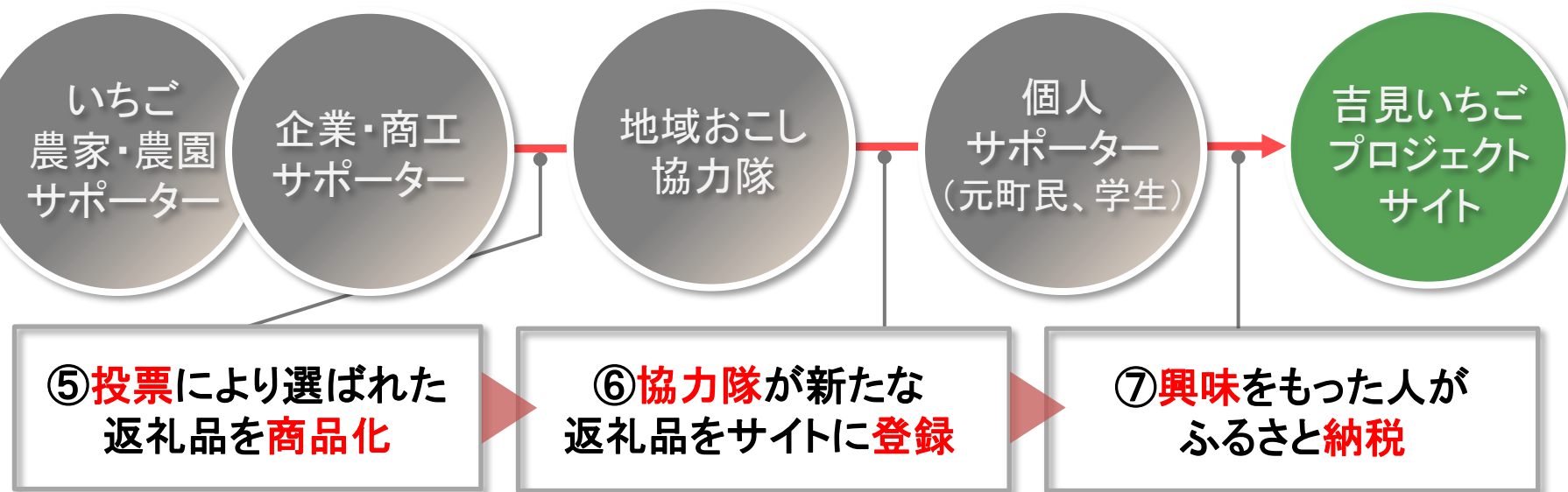
3 ふるさと納税返礼品創出プロジェクト



関係人口が気に行った返礼品案へ投票！



3 ふるさと納税返礼品創出プロジェクト



関係人口という**担い手**が新たな**魅力**を創出



行政が魅力を押し付けても見てもらえない



ふるさと納税という行為の**ついでに**
吉見町の**魅力**に触れてもらい
関係人口(**ファン**)になってもらう

まとめ

地域おこしの担い手創出



地域の中に
既にあるもの

×

地域の外に
既にあるもの



新たな”魅力”と”担い手”を創出



私たちのグループが考える地域づくりの担い手創出



① 地域の**中**にも**外**にもまだ気付いていない**魅力**がある





私たちのグループが考える地域づくりの担い手創出



② 地域の**中**と**外**の人が**刺激**し合い、**生まれる**ものがある





私たちのグループが考える地域づくりの担い手創出



③ 既に**あるもの**を使えば、**実現可能性**が高まる



ないものねだりをするよりも

地域の**あるもの**のさがし



ご清聴ありがとうございました

チーム名「地域あるもの探し」

所属	氏名
株式会社 武蔵野銀行	渡邊 優理恵
埼玉県	後藤 千夏子
春日部市	谷島 良和
三郷市	齊藤 寛之
杉戸町	長岡 孝之

令和3年度 産民学官・政策課題共同研究

②中規模自治体における地域の担い手創出

～愛着ある「“き”業」のを見つけ方～

チーム名「チーム橋人（はしんちゅ）」

- 株式会社警備ログ
- 埼玉県
- 埼玉県
- 春日部市
- 和光市

長谷川 功一
金子 恵大
石川 洋之
池田 裕介
清水 佑輔



彩の国さいたま人づくり広域連合



目次

1. 選定理由
2. 事例 A市
 - ①現況課題
 - ②仮説
 - ③実地調査
 - ④提言
3. 事例 B市
 - ①現況課題
 - ②仮説
 - ③実地調査
 - ④提言
4. まとめ



選定理由

地域生活圏の変化（30万都市から10万都市へ）

デジタル化の発展により、テレワークや二拠点居住などの多様な働き方や暮らし方が可能となり、都市拠点の分散立地を実現可能にした。



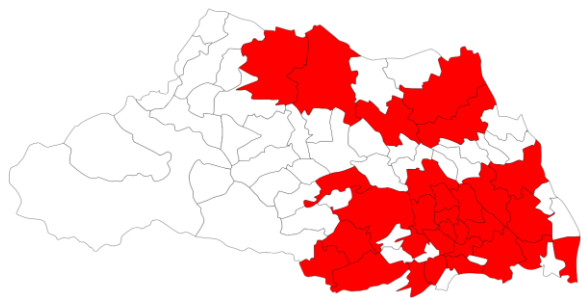
二拠点居住



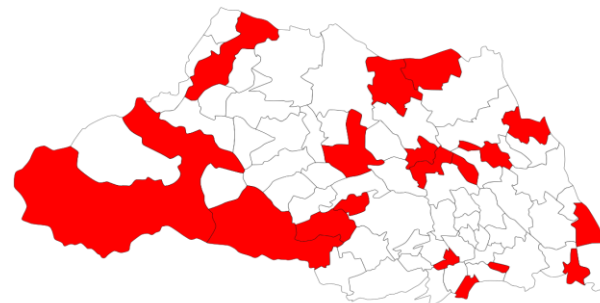
テレワーク



デジタル技術の発展



人口10万人以上の自治体

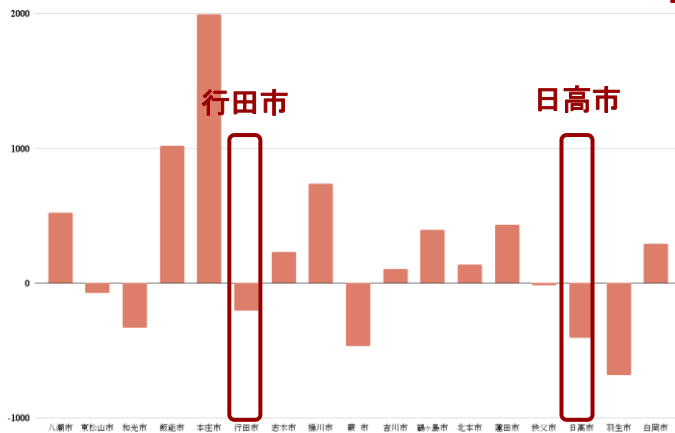
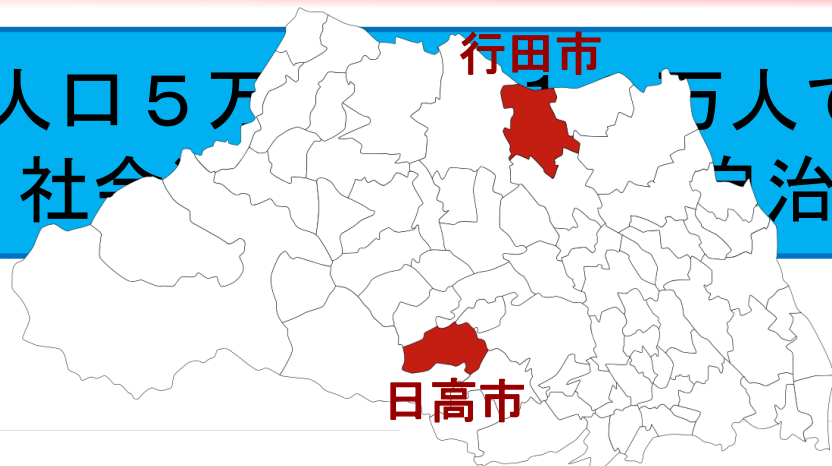


人口5万人以上10万人未満の自治体

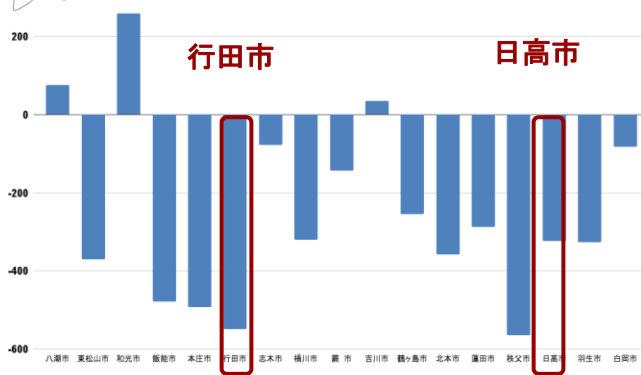


選定理由

人口5万人以上10万人で
自然減・社会増の自治体に注目



【中都市社会増減 (R2年度)】



【中都市自然増減 (R2年度)】



事例市A市 について

- ①現況課題
- ②仮説
- ③実地調査
- ④提言



中心市街地の衰退

- ・ 本町通りや新町通りの空き店舗や空地が目立つ。
- ・ 背後地の住宅においては、空き家が点在しており、中心市街地の人口減少とにぎわいの喪失へ。

典型的な
シャッター商店街化？



R3.11.12(金)
13時頃撮影



現況課題

衰退への対応（助成事業の3本の矢）

起業家支援助成事業（市の助成事業）

利用率 約50%（R2年度）

助成区分	条件等	交付率	助成限度額
空き店舗等家賃助成	空き店舗等の賃借料 助成期間 3 6 ヲ月以内	2 分の 1	50,000 円 / 月
空き店舗等改修費助成	空き店舗等建物本体の改修費 ※当初改修費のみを対象とする	2 分の 1	事務所・店舗：500,000 円 蔵：2,500,000 円

行田市チャレンジショップ事業

- ・ 中心地
- ・ 市所有店舗（1階部）
- ・ 原則無償
- ・ 2 年以内（準備期間込）

1 店舗限定
R3.12末時点
空き有



行田市内事業者応援事業

- ・ 市役所前
- ・ 無償提供（出店スペース）
- ・ コロナ禍による支援
- ・ 簡易販売の需要へ
- ・ 令和3年8月start

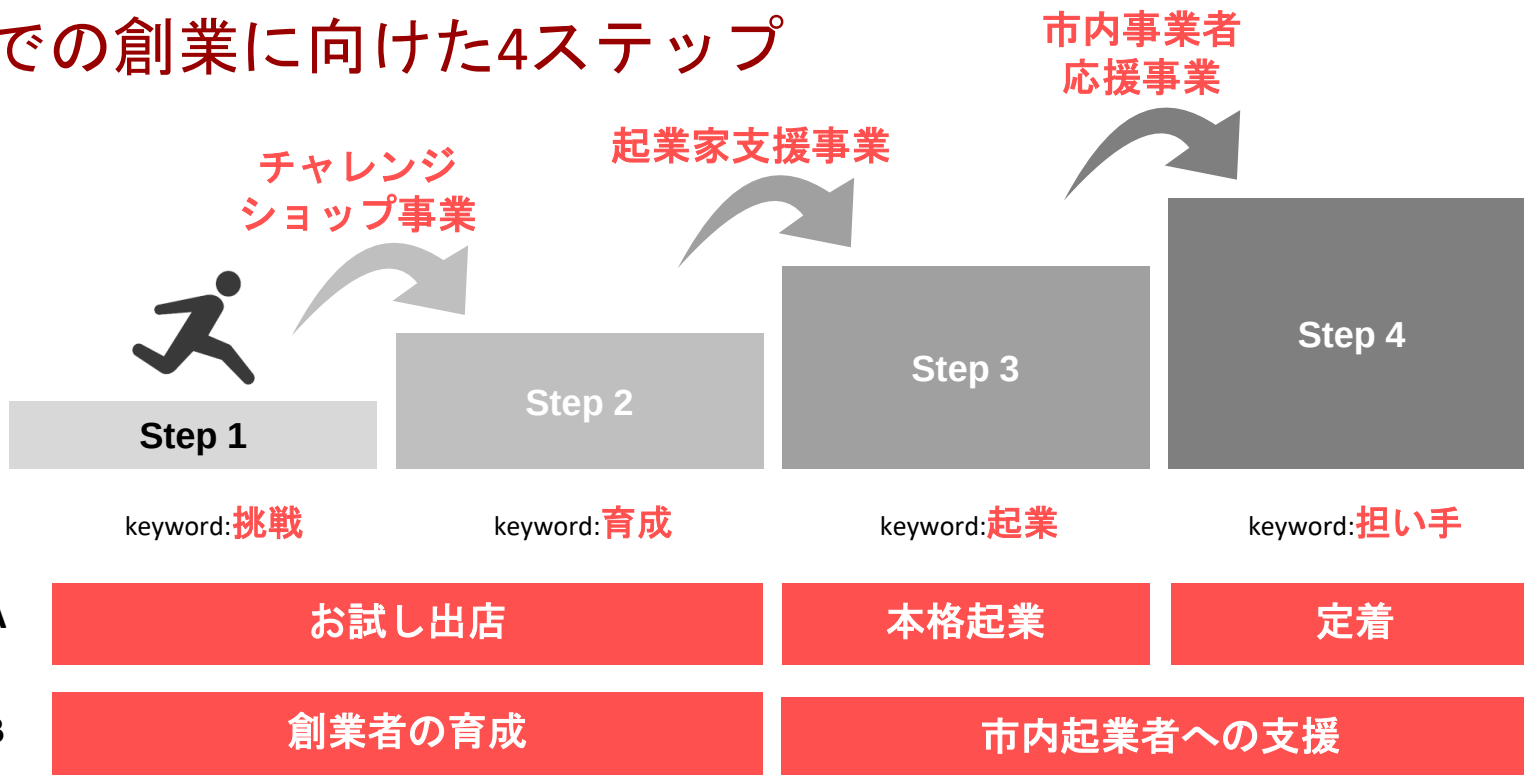
利用率
約75%（5業種）
※1ヶ月あたり





現況課題

市内での創業に向けた4ステップ



A : 意思ある事業者等によるフロー

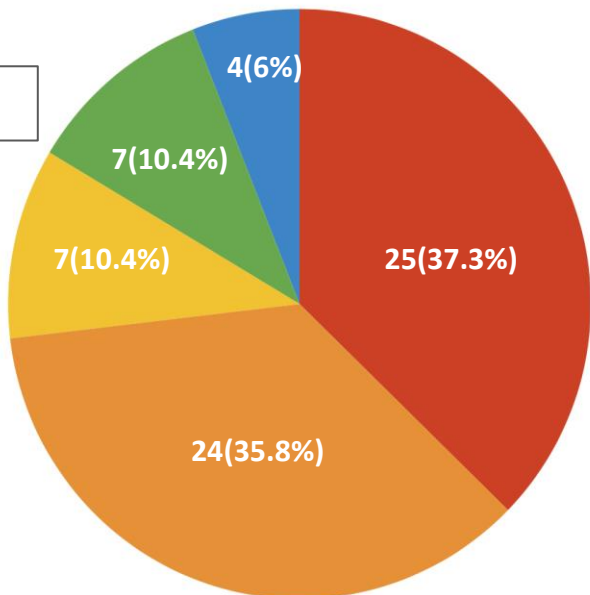
B : 行政による事業支援フロー



起業家支援助成事業制度の利用店舗状況（R3.12時点）

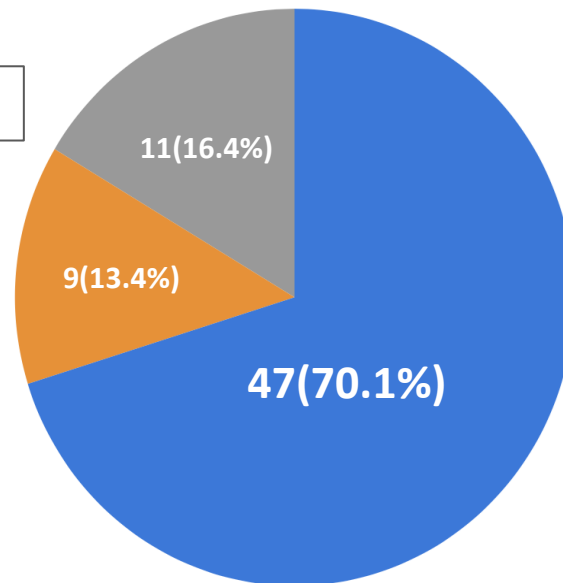
空き店舗制度を活用した約70%が助成期間を終了してもなお営業を継続

店舗種別

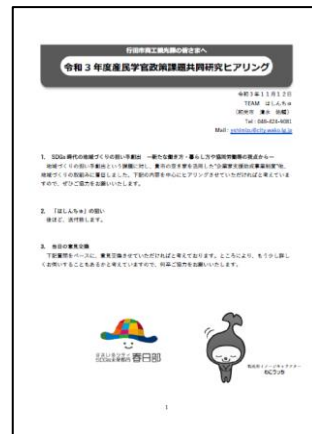


● 飲食店等 ● 病院・美容院等 ● 託児・習い事等 ● 小売店等 ● その他

営業年数割合



● 3年以上 ● 3年未満 ● 不明・閉業





ヒアリング調査（11/12）調査先

行田市商工観光課

一般社団法人行田
おもてなし観光局

行田市チャレンジ
ショップ事業

インテリア用品店：1店舗

起業家支援事業

飲食店：2店舗

整骨院：1店舗

美容院：1店舗

トリミングサロン：1店舗

市内事業者応援事業

飲食店：1店舗



ヒアリング調査（11/12） 調査内容抜粋

- ・ 緊急事態制限後、通常営業とテイクアウトの客が重なり繁盛
- ・ 自作の商品以外に、他の作家の商品なども店頭で販売
- ・ 改修費、家賃補助があるため、独立しやすい環境
- ・ 同業者同士の連携はある
- ・ 行政からの情報提供も多く、愛着が湧きやすい
- ・ 行政以外にもワークショップなどを開催している人がいる



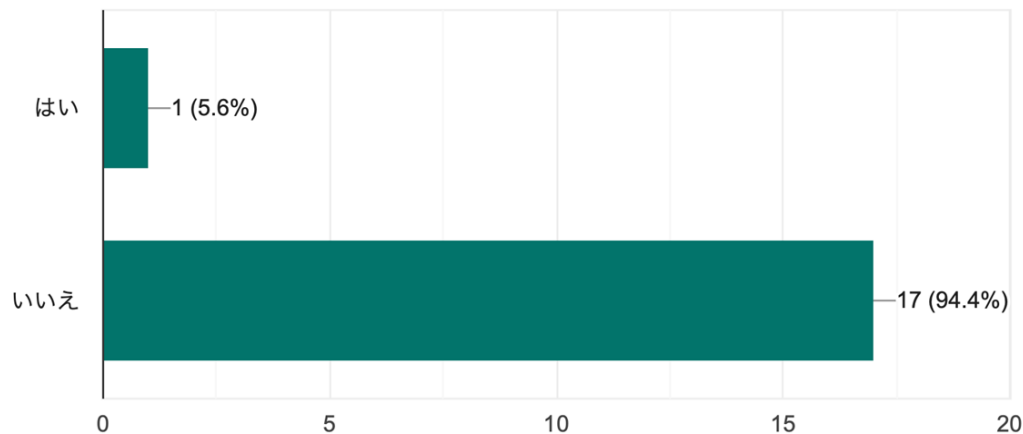
実地調査

アンケート調査（12/6～12/16） ※起業家支援助成事業制度を活用した事業者対象

回答率 29%（18／62）・全10問

Q6. 起業家支援を受けた事業者同士の連携はありますか。

18件の回答



回答も編集できません。

行田市起業家支援制度活用事業者アンケート

現在、埼玉県と県内自治体及び企業で構成された彩の国さいたま人づくり広域連合の共同研究の一環で、「SDGs時代の地域づくりの担い手創出」について研究しています。行田市の空き家を活用した「起業家支援助成事業制度」を活用された事業主様のご意見、ご感想をお聞かせください。

Q.1 ご年齢を教えてください。

- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☒ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代
- ☐ 70代～

Q.2 ご出身を教えてください。

- ☐ 行田市
- ☐ 熊谷市
- ☐ 羽生市
- ☐ 鴻巣市

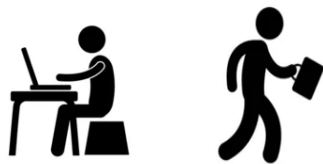
Google forms

起業支援を受けた事業者同士の繋がりはなく、
事業者同士の繋がりをもちたいとの声が挙がっていた



実地調査

調査分析



潜在的な担い手
は存在している



同業者間の
連携が取れている



地域への
愛着がある

ヒアリング調査

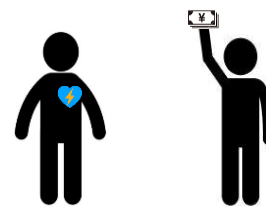
アンケート調査



潜在的な担い手は
機能していない



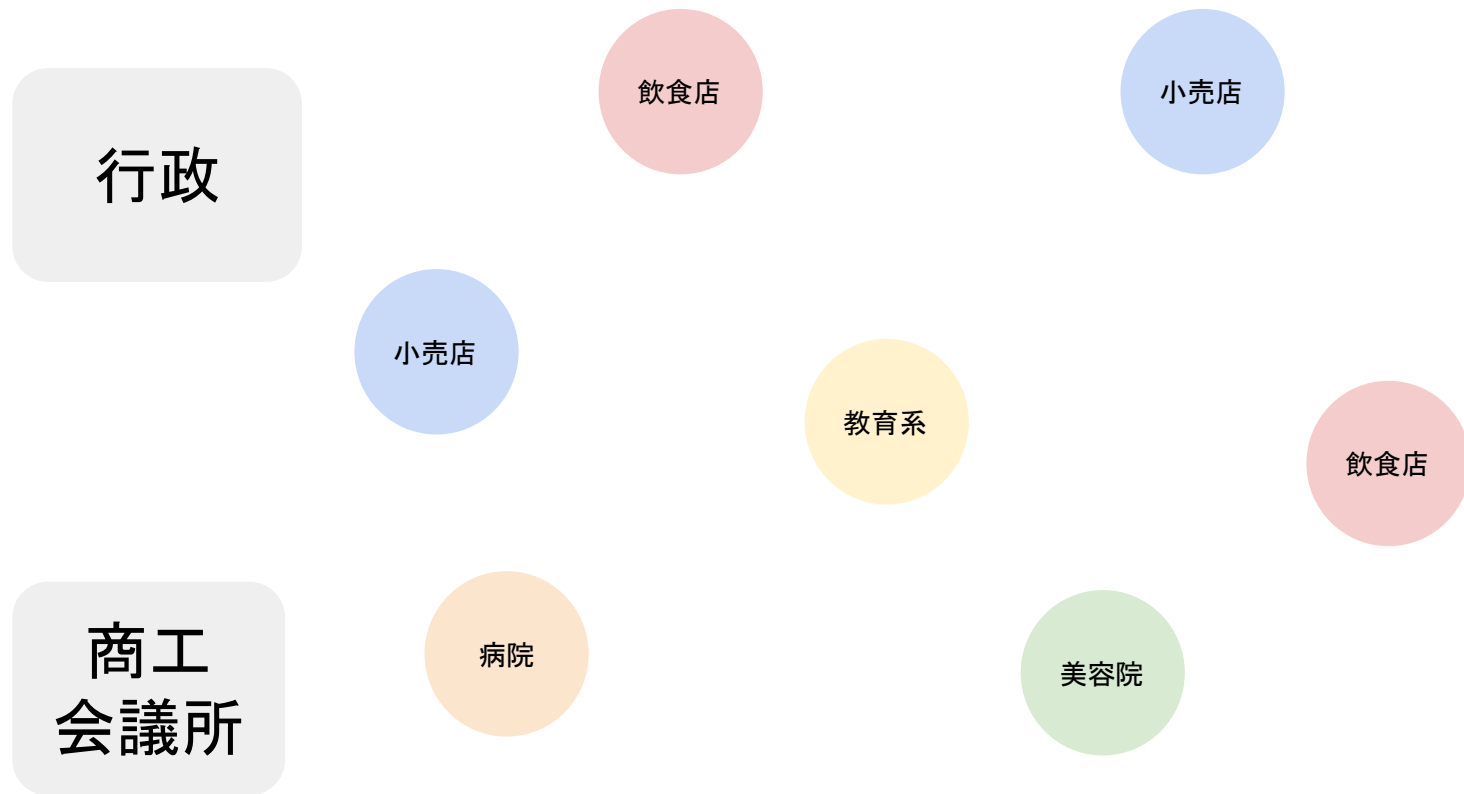
支援制度活用した
事業者間の連携がない



業績重視



実地調査

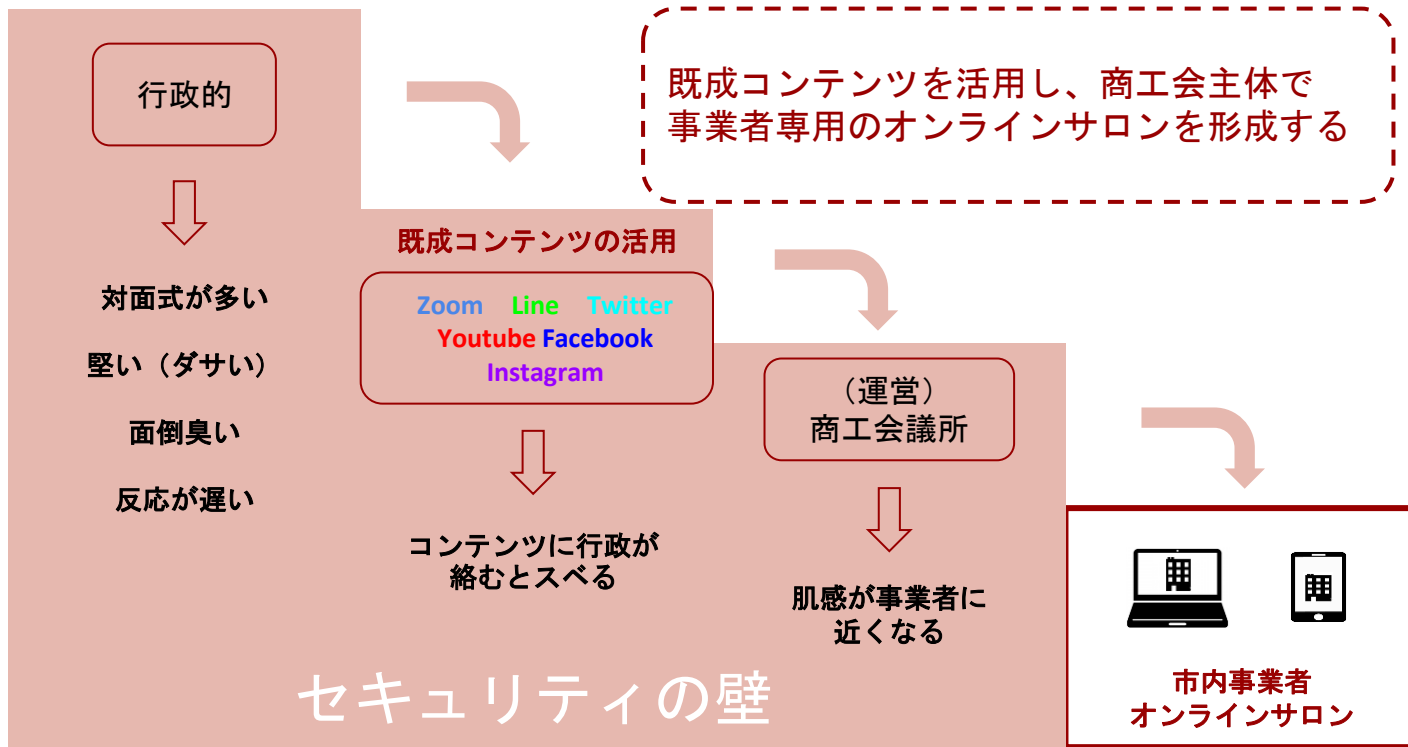


事業者同士、繋がる場所がない。



検討（SDGs時代・コロナ禍で気軽に集う場とは）

新たなコンテンツを作るのではなく、既存コンテンツをフル活用

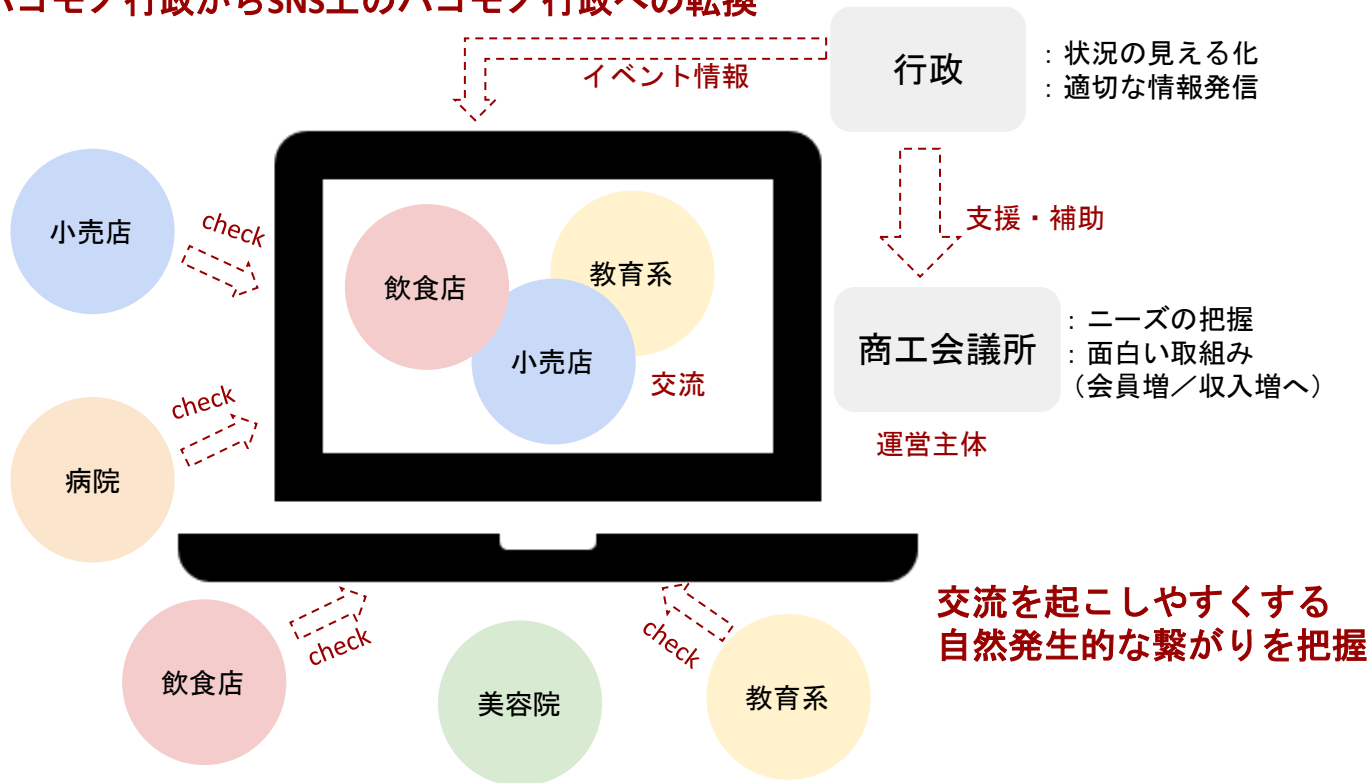




MSG (Mounting SNS in Gyoda)

予算規模：0円

ハコモノ行政からSNS上のハコモノ行政への転換





事欄市B市 について

- ①現況課題
- ②仮説
- ③実地調査
- ④提言



第6次日高市総合計画

- ・ 転入者数より転出者数が多い「社会減」
- ・ 若い世代の転出者が多い
- ・ 住み続けたくない理由
「働く場所が少ない」



日高市リーディングプロジェクト

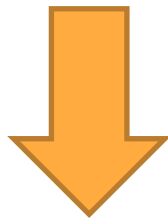
1. 市の魅力をP R
2. 自然減の抑制
3. 社会減の抑制



持続可能なまちづくり



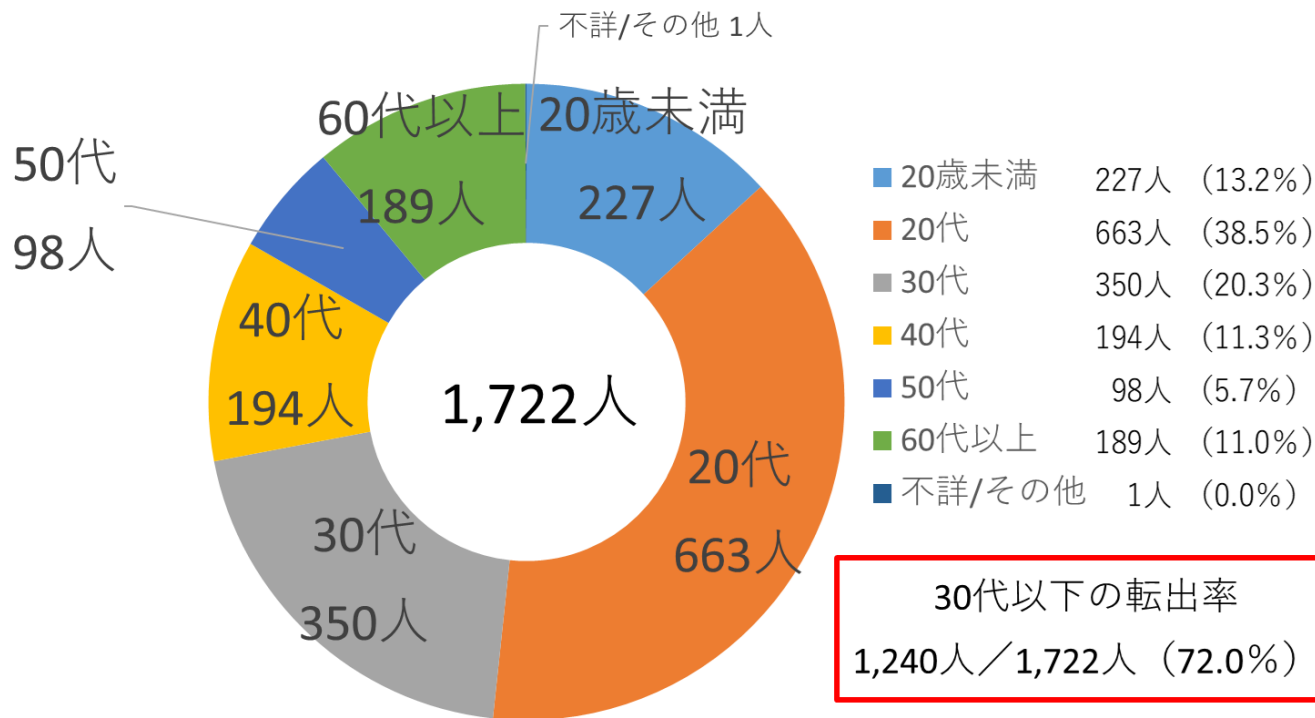
1. 市の魅力をP R
2. 自然減の抑制
3. 社会減の抑制



- ①働く場所を増やす【雇用創出】
- ②子供の頃から「市に対して愛着を持つ」

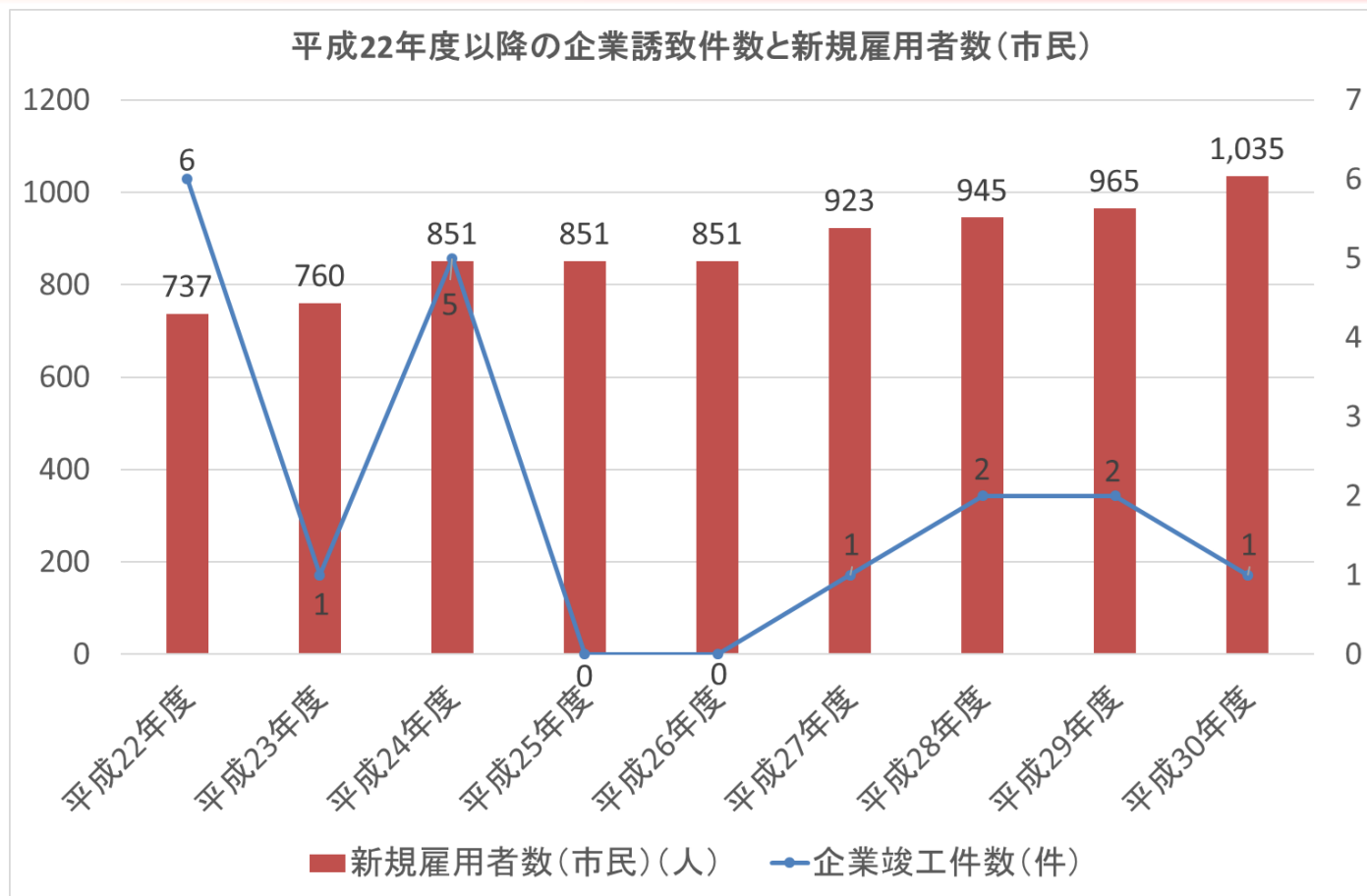


日高市 転出者割合 (2020年)





仮説



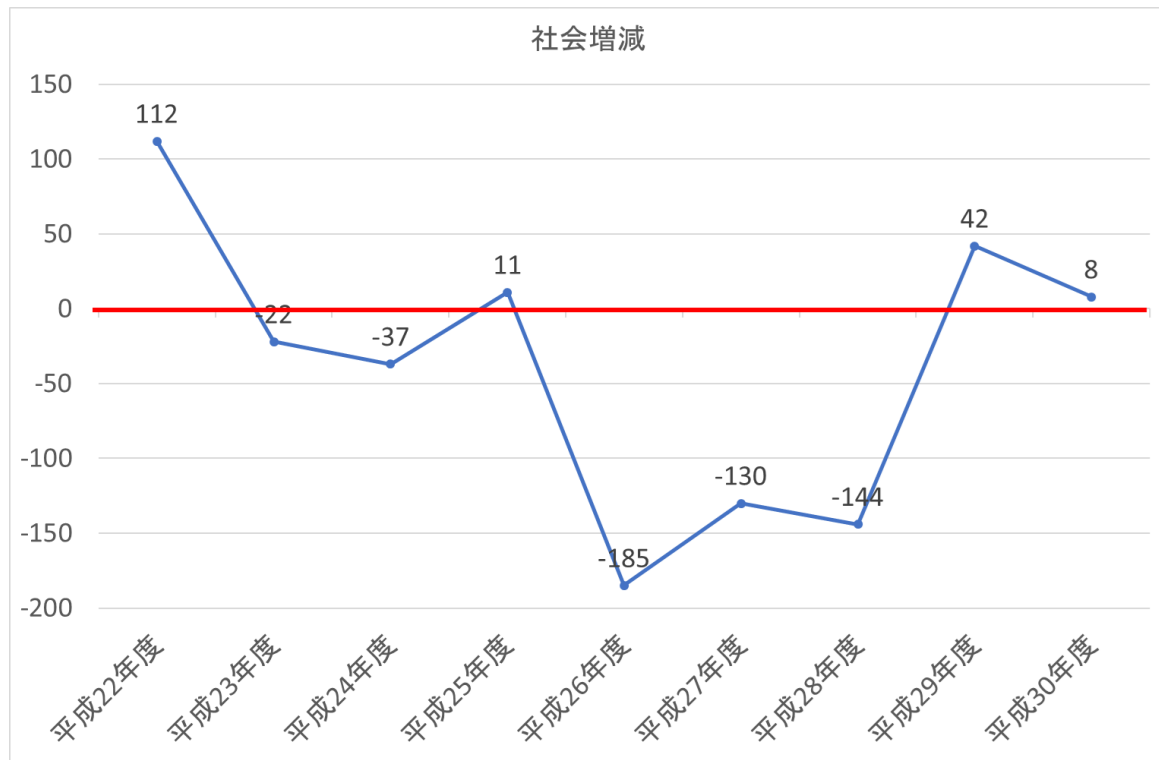


仮説

(単位：人)

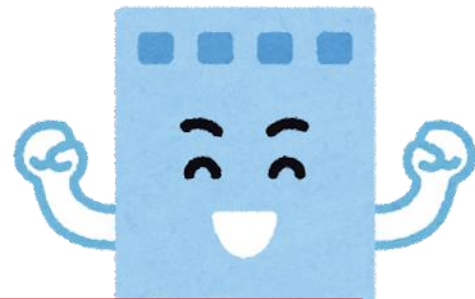
年度	社会動態		
	増減	転入	転出
平成22年度	112	1,968	1,856
平成23年度	-22	1,889	1,911
平成24年度	-37	2,095	2,132
平成25年度	11	2,217	2,206
平成26年度	-185	2,160	2,345
平成27年度	-130	1,955	2,085
平成28年度	-144	1,785	1,929
平成29年度	42	1,961	1,919
平成30年度	8	1,932	1,924

※平成24年度分より外国人住民も含まれた人数となっています。

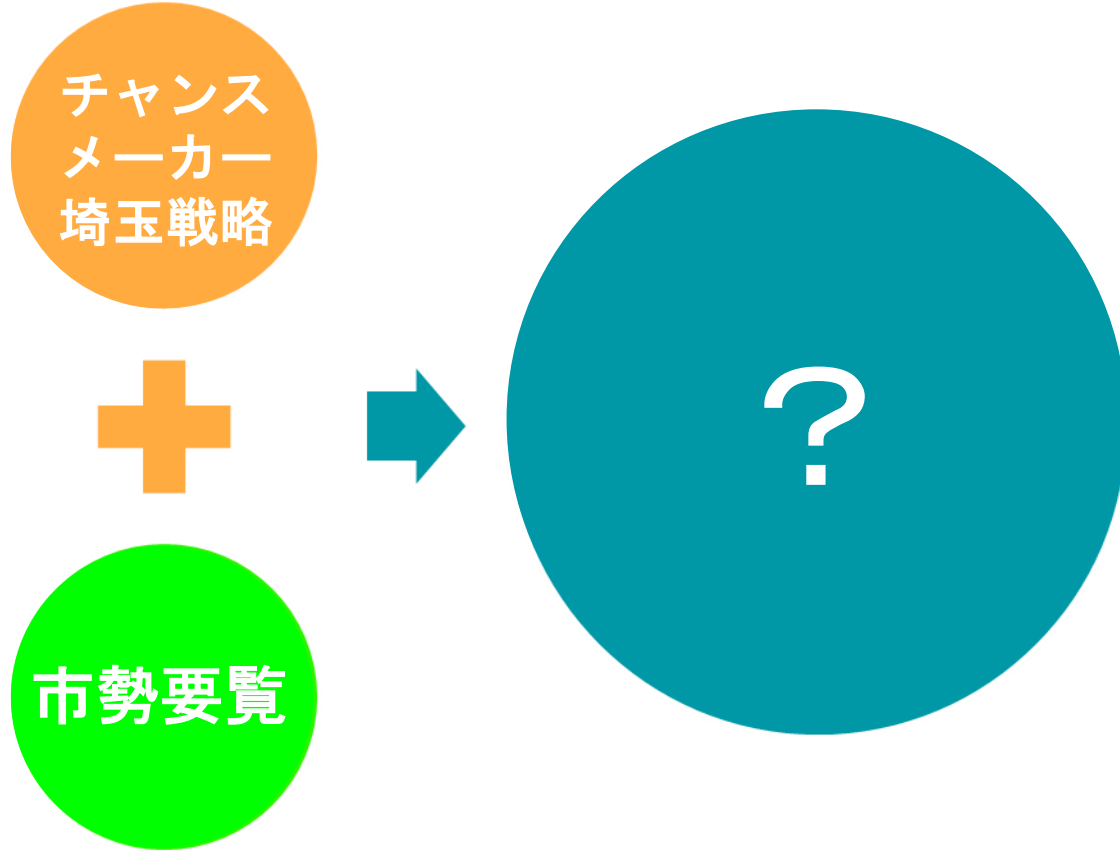




1. 市の魅力をP R
2. 自然減の抑制
3. 社会減の抑制



- ①働く場所を増やす【雇用創出】
- ②子供の頃から「市に対して愛着を持つ」





SAIBOKU

サイボク 子豚の3兄弟



ヨーク

ミートピアで暮らす
子豚の3兄弟の長男。
しっかり者で弟たちの面倒を見る、
やさしいお兄ちゃん。
料理と歌が得意。



ロック

ミートピアで暮らす
子豚の3兄弟の次男。
植物や花については、
誰にも負けないくらい
詳しい。



パーク

ミートピアで暮らす
子豚の3兄弟の三男。
のんびり屋で、
マイペースな性格。
温泉が大好き。



実地調査



精肉直



トラン



実地調査



コエドビールと セット販売

他企業との連携は？



サイボクの豚肉を使用した餃子



行政との取組は？





「日高市民健康づくり包括的連携協定」

目的

健康づくりに関する機会を提供
郷土愛の醸成と人づくりの推進
健康寿命の延伸を図る

内容

健康・福祉の増進、安心安全な食品提供、
食育・文化・生涯学習、地域の活性化、人
材育成、災害時における市民の支援など



実地調査



ふるさと納税



学校給食の食材提供



市民限定「優待パス」



食育の特別授業



実地調査





提言

サイボクなど

企業誘致

既存
企業

新規
企業

=

地域づくり
の担い手



学校

行政



住民

自治会



子供の頃から「市に対して愛着を持つ」取組



子供の頃から「市に対して愛着を持つ」取組

子供たちを笑顔にする



出典 いらすとや、サイボクホームページ

持続可能なまちづくり



まとめ

	行田市	日高市
担い手	起業家	企業
市の役割	状況の見える化 適切な情報発信	企業誘致 企画立案 企業と学校の調整
提言	事業者専用のオンラインサロンの設置	①雇用創出 ②市に対して愛着を持つ取組



おわり



令和3年度 産民学官・政策課題共同研究

③東京近郊の自治体における担い手創出

～シビックプライドの醸成を手がかりとして～

チーム名「県南地域担い手創出チーム」

- | | | |
|----------------|----|-----|
| ・ 損害保険ジャパン株式会社 | 岩見 | 浩平 |
| ・ 埼玉県 | 浅野 | 真由 |
| ・ さいたま市 | 梶原 | 由華 |
| ・ 志木市 | 櫻井 | 諒太郎 |



彩の国さいたま人づくり広域連合



1. 県南地域の概要・課題分析
2. 仮説
3. 事例① シビックプライドの向上（相模原市）
4. 事例② 地域活動の拠点づくり（柏市）
5. 事例③ 地域での新しい働き方（横須賀市）
6. まとめ



県南地域の概要

県南地域について

- ・ 南部、南西部、東部、さいたまの4地域（埼玉5か年計画）
- ・ 都心から約10～30km圏の範囲内
- ・ 埼玉県の総人口（730万人）の半数以上が居住





県南地域の選定理由

【県南地域の将来予測】

- 団塊世代が75歳となる令和7年（2025年）には**後期高齢者も大幅に増加**。その約半数が県南ゾーンに集中する見込み。
（埼玉県5か年計画159ページ「県南ゾーンの特性」より）
- **20代～30代の若年世代の転入が今後も見込まれる**。出産や自宅購入などを機に若年世代が流出しないよう、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めることが重要。



地域の担い手が高齢化、次世代の担い手育成が急務！



どこの都道府県か分かりますか？

都道府県「愛着度」 ランキング2020 (ブランド総合研究所実施)

最下位の都道府県は？

出典：ダイヤモンドオンライン 2021.4.28付「地元愛が強い都道府県ランキング
2020【完全版】」 <https://diamond.jp/articles/-/268623>

都道府県「愛着度」ランキング2020

順位	前年 順位	都道府県	愛着度
1	1	北海道	84.4
2	2	沖縄県	81.3
3	6	福岡県	81.0
4	36	岩手県	78.9
5	11	長野県	78.9

・
・
・

43	24	徳島県	69.9
44	42	千葉県	69.3
45	43	秋田県	69.2
46	40	佐賀県	66.7
47	46	?	65.2



県南地域の課題・分析

【県南地域の課題】

1. 県南エリアは転入・転出が活発なため、地元地域への愛着意識が低い

→「地元愛が強い都道府県ランキング2020」（ブランド総合研究所実施）で、埼玉県は47都道府県の中で最下位

2. 昼夜間の人口比率が低く、日中は県外へ行く人が多い
(2015年国勢調査・昼夜間人口比率データより)

→自分が住むまちを知る機会を持ちにくい

→まちへの愛着が醸成されない

※昼夜間人口比率...夜間人口100人当たりの昼間人口



県南地域担い手創出のポイント

【県南地域担い手創出のポイント】

自分の住むまちに対し愛着や誇りをもち、まちに積極的にかかわっていかこうとする意識の醸成、すなわち「**シビックプライド**」が向上することが大切！



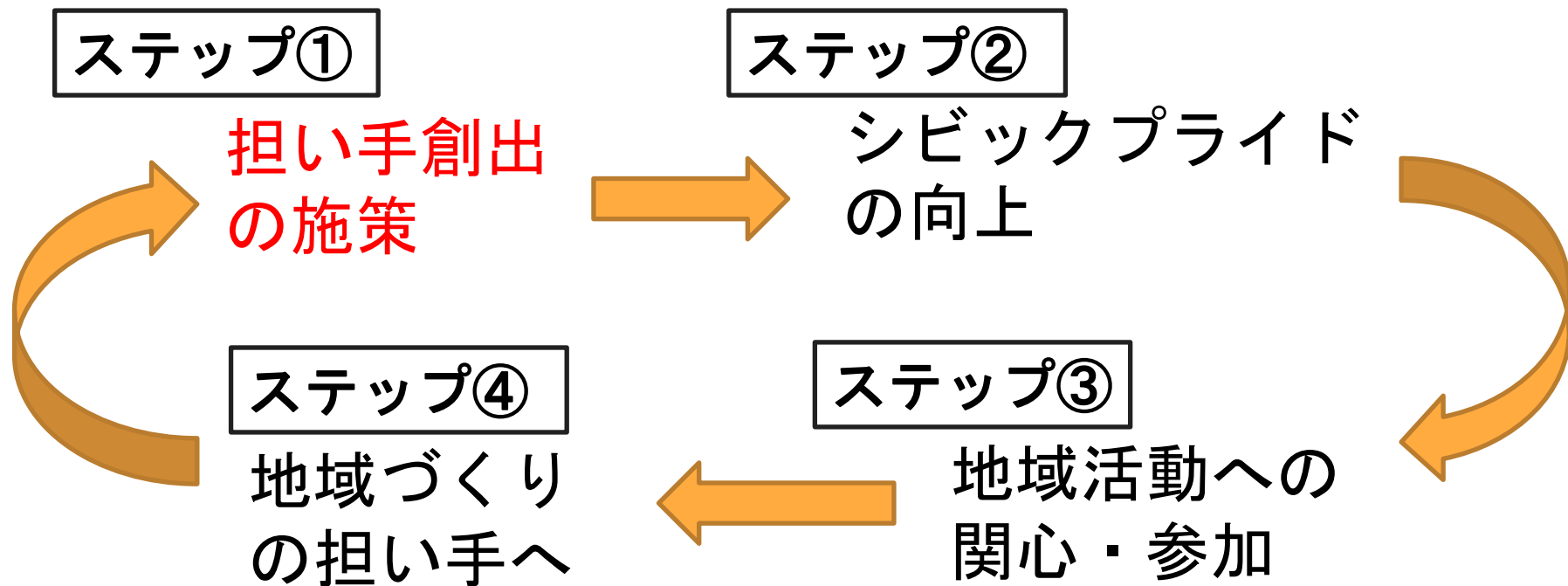
シビックプライドについて

【シビックプライドとは】

- シビックプライドとは市民がまちに対して持つ愛着や誇りのこと
- まちをより良い場所にするために、自分自身がかかわっているという当事者意識に基づく自負心
- そこからまちに積極的にかかわっていかこうとする意識が生まれる。



仮説～県南地域における担い手創出～



持続可能な地域の実現



担い手創出のための5つのポイント

1. 活動拠点の整備
2. 参加ハードルを下げる
3. 自走する仕組み
4. アイデンティティの提供
5. 新しい働き方



担い手創出の5つのポイントを実践している事例

ポイント	相模原市	柏市	横須賀市
①活動拠点の整備		○	
②参加のハードルを下げる		○	○
③自走する仕組み		○	○
④アイデンティティの提供	○		
⑤新しい働き方			○

相模原市
「さがみはらみんなの
シビックプライド条例」

全国初！令和3年4月1日施行

事例① 相模原市について



- ・ 人口は約 7 6 . 2 万人
- ・ 政令指定都市
(平成 2 2 年 4 月 1 日から)
- ・ JR東日本、京王電鉄、小田急電鉄合わせて6つの鉄道路線
- ・ **都心まで電車で 3 5 ~ 4 0 分圏内**



事例① さがみはらみんなのシビックプライド条例

【条例化の理由】

- ・市に対して愛着を感じている市民が少ない
(相模原市・市政に関する世論調査から)
- ・条例化により市の指針や方向性が明確化

【条例の策定経緯】

令和元年度から「シビックプライドの推進に関する検討委員会」を設置（令和２年度まで７回開催）



事例① さがみはらみんなのシビックプライド条例

シビックプライド条例の概要①

★市の役割

→積極的に相模原の魅力を伝えること

★「相模原と関わりのある人」の役割

→市の魅力をSNSなどを通じて発信することへの協力

市民に限らず「さがみはらファン」も対象としている。



シビックプライド条例の概要②

「相模原市と関わりのある人」

- ・ ・ ・ 相模原市の居住者、通学または通勤する人、相模原市と何らかのつながりがある人、又は相模原市に関心がある人

「さがみはらファン」

- ・ ・ ・ 相模原市を好きな人



事例① さがみはらみんなのシビックプライド条例

条例化の影響について

令和3年度

新型コロナの影響によりイベント等が実施出来ず。

令和4年度以降

計画を策定し、効果的な取組みを進めていく
予定！

愛知県豊田市 「WE LOVE とよた条例」



地域愛の醸成を目的として「市民憲章」や「都市宣言」として定めている事例もある！



事例① 【まとめ】 シビックプライドの向上

シビックプライドの向上

まちを知り、関心をもつ人が増加

自治体の事業やシティプロモーション等への活用

理念の周知・共有

シビックプライドの条例・市民憲章等の整備



柏市

「柏の葉キャンパスのまちづくり」



事例② 柏市について

- ・ 柏市: 人口430,072人(2020年12月)
- ・ 面積 114.74m²
- ・ ・中核都市
- ・ 千葉県の北西部に位置し、東西の距離は約18キロメートル、南北の距離は約15 km
- ・ 鉄道は都心から放射状に常磐線及びつくばエクスプレスが、南北には東武アーバンパークラインが通っている。都心から約30分の距離

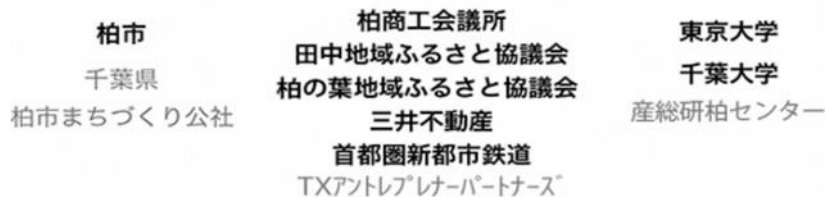




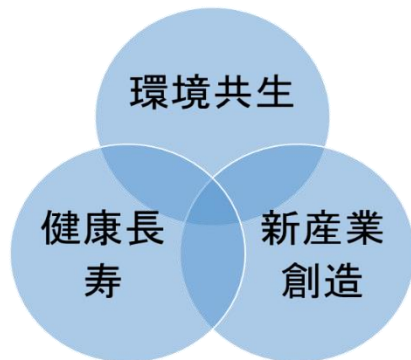
事例② 柏の葉キャンパスについて

柏の葉アーバンデザインセンター概要

公共 × 民間 × 大学



柏の葉キャンパスの目指す方向



- 土地区画整理事業
- 公民学連携柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)が主体
- 計画人口43000人、総面積約433h
- 特徴 域内に東京大学、千葉大学があり、まちづくり運営面で連携

目的①環境共生、②健康長寿、③新産業創造の3点。スマートシティ構築推進。スタートアップや大学の技術を活用した実証実験にも取り組んでいる。



事例② 柏の葉 まちの交流会 K サロン

- 定期的に月一回 19:00～UDCKで開催。飲み物・食べ物片手に、この地域で気になること、取り組んでいること等をざっくばらんに話したり、情報交換をする持ち寄り形式の交流会。
- 東京大学のキャンパスの一部を低額で借用
- まちのことを知るきっかけづくりを目指している。

Kサロンの様子



Kサロン写真（2021.12.10筆者撮影）



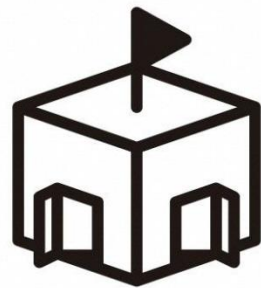
事例② みんなのまちづくりスタジオ

「世界の未来像」をつくる街、柏の葉スマートシティを推進するために、まちのユーザーである生活者を中心にして企業や行政、学術機関が共創していくプラットフォームとして誕生。

主催 UDCK

出典:UDCKタウンマネジメント

<https://www.udcktm.or.jp/studio/index.html> (2021.12.23アクセス)



みんなの
まちづくり
スタジオ

KASHIWA-NO-HA

一緒に未来を動かそう。

Web上でプロジェクト
の「なまえ」と「ロゴ」
の人気投票を実施



事例② あ・し・た「健康長寿」の街づくり拠点

- ・ 柏の葉の健康情報発信施設。街のコンセプトである「健康長寿」推進
- ・ まちの健康研究所「あ・し・た」は、「あ・るく」・「しゃべる」・「たべる」のテーマに沿ったまちの健康づくり拠点
- ・ 施設内にはそれぞれのテーマに関わるブースをご用意。
- ・ 運営主体は市民サポーター、関連企業等

出典：サイトマップまちの健康研究所「あ・し・た」
<https://www.ast-lab.jp/info/index.php> (2021.12.23アクセス)

柏の葉の健康情報発信施設「あ・し・た」



「あ・し・た」(2021.12.10筆者撮影)



事例② KOIL インキュベーション施設

- 『Kashiwa-no-ha Open Innovation Lab』の略称で2014年4月にオープン。国内最大級の coworkingスペースのほか、デジタルアプリケーション機器が揃うKOILファクトリーなどを併設
- 料金：共用部（ミーティングルーム、coworkingスペース等）を利用した分だけ課金される“Pay per use（従量課金制）”の契約形態を導入
運営主体：不動産会社

KOIL入口の様子



2021.12.10筆者撮影

事例② 自走する地域活動

株式会社CROSSASIA

子育てサークルから起業

(事業内容)

- ・ 親子向けイベントの企画運営等
- ・ 子育て中ママたちから地域情報を買取り地域情報WEB作成やイベントの企画運営につなげるほか、イベント運営員としても対価を支払っている。
- ・ 事業展開に際して、KOILに集う他の事業者とともに、それぞれの持つ技術やアイデアを共有することで新たな地域活動につなげている。

- ・ 柏の葉 本のたからばこ

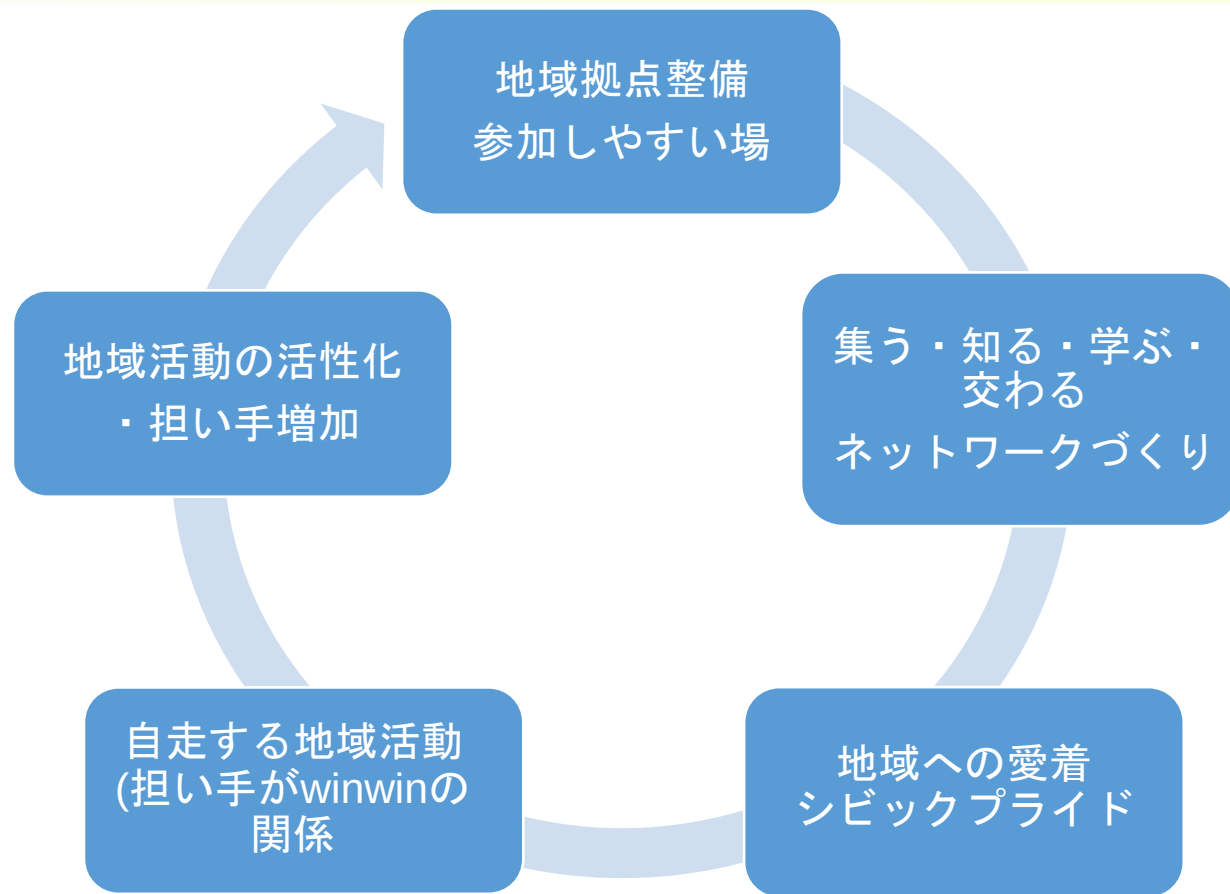


住民による住民のためのプロジェクトで生まれた私設図書館。(株)CROSSASIA提供

出典: 柏の葉 本のたからばこ <https://familylibrary.jp/>
(2022.1.18アクセス)



事例②【まとめ】 地域活動の担い手と地域拠点づくり





横須賀市 「一般社団法人KAKEHASHIの取組」

事例③ 横須賀市の概要

- 人口約 40 万人
- 中核市
(平成 13 年 4 月 1 日から)
- 鉄道
JR横須賀線、京浜急行線

東京都心まで電車で 45 分程度



事例③ KAKEHASHIの事業



出典：一般社団法人KAKEHASHIホームページ（<https://kake-hashii.info/>）2021年12月22日閲覧





事例③ 一般社団法人KAKEHASHI

一般社団法人KAKEHASHI

- ・ 設立：2020年5月
- ・ 職員：理事3名、メンバー4名



横須賀市の職員（公務員）
によって設立された！



事例③ KAKEHASHI設立のきっかけ

熱い想いを持つ人の
想いを実現する**架け橋**となり
世の中をもっと良くしたい



事例③ KAKEHASHIの理念

【理念・大切にしていること】

- ・ 市役所職員としての強みを生かし、人と人をつなぐハブの役割を果たす
- ・ 現場の声、目の前の声を聞くこと
- ・ 事業者の方々にメリットを感じてもらうこと

【目標】

- ・ 横須賀市をよくすること



事例③ KAKEHASHI設立までの流れ

営利企業等従事許可申請書を
市長に提出（横須賀市服務規程）

その前に...

市長、人事課、申請者で話しあい、
先に了承を得た



事例③ 自治体職員と法人代表理事の両立について

- KAKEHASHIの業務は
業務時間外、週末、有給休暇で対応
- 市役所の業務で知りえた情報は
KAKEHASHIの業務で利用しない。



副業としての地域活動

【公務員にとって】

地域との交流が促進される

→本来業務にも好影響

【地域全体にとって】

地域と関わることでシビックプライド向上

→**新たな地域づくりの担い手創出に！**



提言 1

シビックプライドの向上

【具体的施策】

- ・ 条例化、市民憲章等による理念の周知
- ・ シビックプライド×既存の事業

【ターゲット】

地域と関わりのある人
(多様な側面から地域に関わる人)

【5つのポイントとの関連】

④アイデンティティの提供



WE LOVEとよた×プレミアム付飲食券の展開例（愛知県豊田市）



地域活動拠点の整備と自走するしくみ

【具体的施策】

- ・ 施設整備：民間企業のスペースの地域開放、古い公共施設のリノベーション等の活用、IoT機器の設置
- ・ 事業内容：参加しやすい環境づくり 茶話会、懇談会、ワークショップの開催など
- ・ 地域活動支援（情報提供、補助金、起業支援等）

【ターゲット】

- ・ 公民官連携、地域資源（施設・人材）の掘り起し

【5つのポイントとの関連】

- ①活動拠点の整備、②参加のハードルを下げる
- ③自走する仕組み



地域活動分野での副業・兼業の促進

【具体的施策】

- ・ 副業（兼業）支援制度の整備
- ・ 参加機会の拡大（活動及び参加方法の種類を増やす）

【ターゲット】

自治体（公務員）、民間企業、市民

★公務員が率先して行い、ロールモデルとなることが重要

【5つのポイントとの関連】

- ②参加のハードルを下げる、③自走する仕組み、
- ⑤新しい働き方



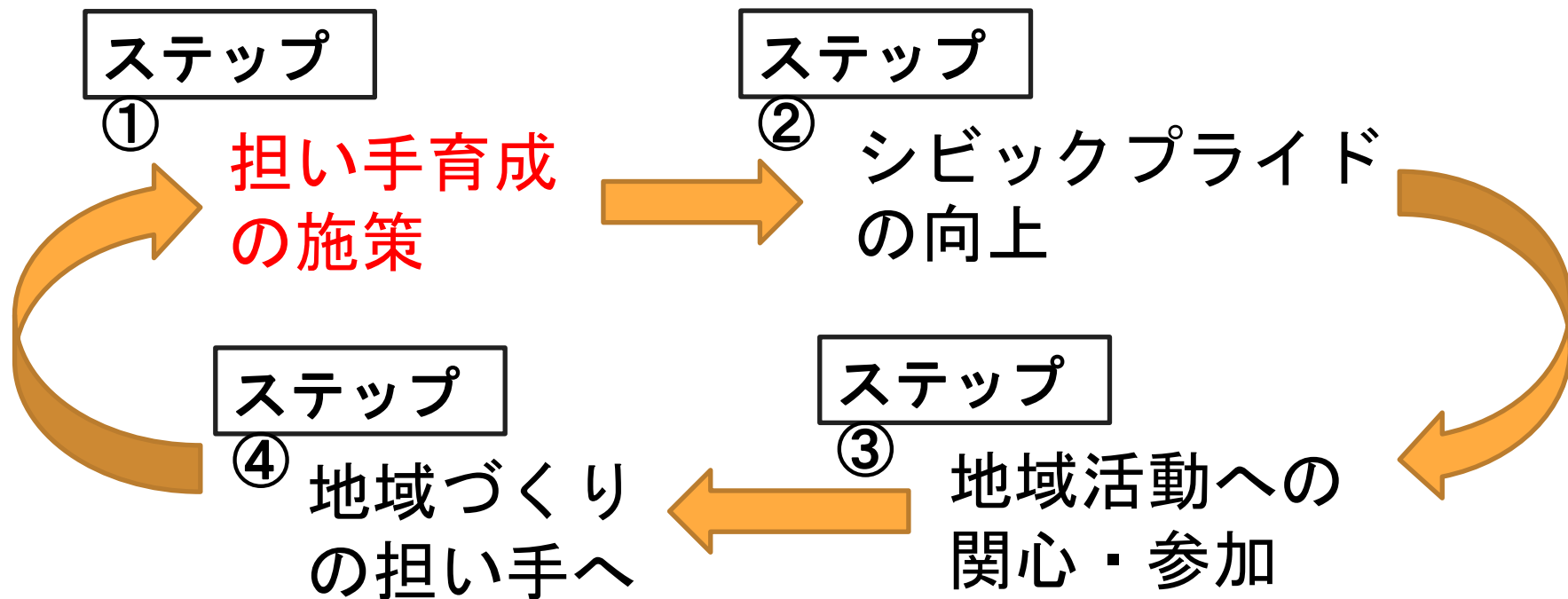
提言のまとめ

県南地域の担い手創出のための施策について

施策提案	具体案	施策のターゲット	参加のポイント
シビックプライドの向上	条例化・憲章・宣言等の整備	地域と関わりのある人	④アイデンティティの提供
自走する地域活動拠点の整備	企業の空きスペース・古い公共施設再利用	民間企業、地域活動団体	①活動拠点の整備 ②参加のハードルを下げる ③自走する仕組み
地域活動分野での副業・兼業の促進	副業・兼業をしやすい環境づくり	地域住民	②参加のハードルを下げる ⑤新しい働き方



提言のまとめ



持続可能な地域の実現



ご清聴ありがとうございました。

令和3年度 産民学官・政策課題共同研究

④利根地域（広域行政）における担い手創出 ～持続可能な活躍の場づくりしないト、ネ。～

チーム名「おかえりトネ」

- | | | |
|---------------|----|----|
| ・ 株式会社船井総合研究所 | 東狐 | 成穂 |
| ・ 埼玉県 | 市川 | 智也 |
| ・ 行田市 | 嶋田 | 和子 |
| ・ 加須市 | 深谷 | 弘明 |
| ・ 春日部市 | 内田 | 文絵 |



彩の国さいたま人づくり広域連合



目次

1. 選定理由
2. 現状及び課題の抽出
3. 事例調査
4. 政策提言
5. おわりに



1. 選定理由





1. 選定理由

■ 利根地域ってこんなところ



行田市、加須市、羽生市、
久喜市、蓮田市、幸手市、
白岡市、宮代町、杉戸町

の7市2町で構成



1. 選定理由

■利根地域の3つの特徴

(埼玉県「埼玉県5か年計画」より抜粋)

- (1) 「稲作が盛んで、県内有数の穀倉地帯」 = 農業地域
- (2) 「駅を中心に市街地が形成」 = 居住地域
- (3) 「大規模工業団地の造成が進み」「多様な産業の集積」
= 産業地域

☆埼玉県の郊外部に共通する特性

⇒モデルケースになり得るのでは？



2. 現状及び課題の抽出





2. 現状及び課題の抽出

■ 地域づくりの担い手として注目したのは

70歳以上の高齢者（地域内）

20歳代の社会人（地域内外を問わず）



2. 現状及び課題の抽出

■現状分析から見たこと

- ・高齢化率は県内で秩父地域に次いで2番目に高い水準
- ・20歳代の若者は仕事や結婚の都合で転出してしまうが、地元に愛着がないわけではない
- ・利根地域には地域住民の興味を引く地域づくり団体や活動が少ない

⇒地域づくりの担い手が減り続ける、負のスパイラルに



2. 現状及び課題の抽出

■ 課題

持続可能な地域づくりの担い手の不足

■ 目標

地域内の高齢者から地域外の若者まで、
多様な人が関わり、自走していける地域づくり



2. 現状及び課題の抽出

■「地域づくり」とは…

地域活動を通して、
にぎわいのある地域をつくること



3. 事例調査





3. 事例調査

■ 調査事例について

(1) BABA lab (ババラボ) (合同会社シゴトラボ)

→ **高齢者**が地域で活躍している事例として

(2) 株式会社kaettara (カエッタラ)

→ 転出した**若者**世代が地元に関わる事例として

ゆすはら

(3) 高知県梶原町 集落活動センター (株式会社 四万川)

→ 住民主体の**自走**可能な組織運営の事例として



3. 事例調査

■ (1) BABA lab



BABA lab





3. 事例調査

■ 設立の経緯

人生100年時代と呼ばれる時代になってきた
若い人が長生きすることへの希望を見いだせていない現状

⇒「**長生きするのも悪くない**」

と思える仕組みづくりをしたいと思い設立

■ 目的

- ・自分の好きなこと、得意なことで働ける場所をつくる
- ・「長生きするのも悪くない」と思える仕組みをつくる



3. 事例調査

行政からの業務委託料や
自社開発商品の売上を運営資金に

■ 事業内容

(1)「仕組み」について考える場づくり

- ・「ホンネ会議」の開催
- ・「月1学習会」の開催
- ・「研修・セミナー・講座」の企画と運営、講師派遣

(2)アイデアを「仕組み」にして運営する取組

- ・ものづくりを軸にした100歳まで働ける場(BABA labさいたま工房)
- ・ICTを軸にしたサービスの開発(シニアテック)
- ・情報発信、シニア人材発掘の場(BABA labシニアチャンネル)



3. 事例調査

■ (2) 株式会社kaettara





3. 事例調査

■ 設立の経緯

平成27年2月～「栃木ゆかりのみ」

地方出身者が集まる場が求められている

地元貢献したい、いつか地元に戻りたいという人が多い

⇒ 地元に戻りたい人たちが、

理想的に地元に戻れる形を創出するために設立

■ 目的

- ・ 地元に戻りたいという想いのある人同士をつなぐこと
- ・ 地元で挑戦できる仕事に就いて働ける環境をつくること



3. 事例調査

■ 事業内容

コンサルティング業や
行政からの業務委託料を運営資金に

企業と地方自治体をつなぐ伴走支援型コンサルティング

(1) 栃木ゆかりのみオンライン

- ・首都圏にいる地元出身者と地元をオンラインでつなげる取組

(2) WEBメディア「MIKIRO」による情報発信

- ・取材活動を通じた魅力的な地元企業の再発見

(3) 企業や個人、地方自治体の間をつなぐコンサルティング

- ・小山市との連携事業

「女性の活躍×デジタルトランスフォーメーションを推進するまち小山市・
関係人口創出事業」



3. 事例調査

■ (3) 高知県梼原町 集落活動センター





3. 事例調査

■ 設置の経緯

地域内で唯一のガソリンスタンドが廃業

⇒「自分たちの生活は自分たちで支えよう」という想いのもと

地域の課題を解決するため集落活動センターを設立

事業継続のため地域へ出資を募り株式会社四万川を設立

■ 目的

- ・地域住民の生活を地域自らの手で支える
- ・生活に必要なもの等を地域内で調達できる環境を整える



3. 事例調査

事業収入や行政からの補助金を
運営資金に

■ 事業内容

(1) ガソリンスタンド経営

- ・地域住民の意思により集落活動センターで事業に取り組む

(2) 生活用品等の販売

- ・地域住民からの声でガソリンスタンド内に整備

(3) 冠婚葬祭事業

- ・旧幼稚園施設を活用した事業、地域住民を中心に実施

(4) 配食サービス

(5) 観光案内

(6) 雉肉生産加工事業



3. 事例調査

■ 持続可能な活動のポイント

BABA lab

- 人を大事にする
- 活動するための拠点がある
- 代表が広く先まで見通している

kaettara

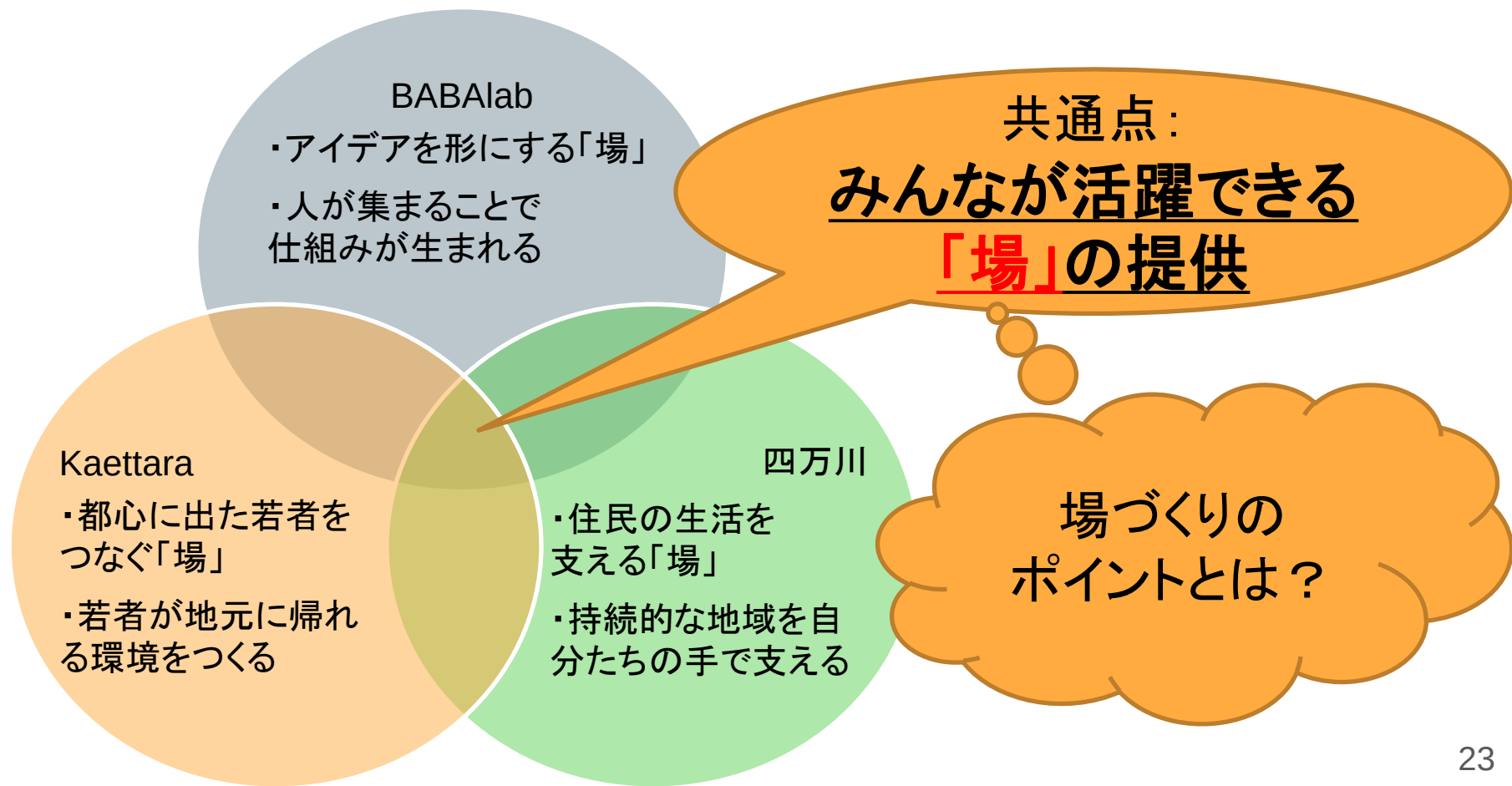
- 様々なネットワークの活用
- 地域の外から関わること
- オンラインの活用可能性

集落活動センター

- 自走を可能とする安定的な収入
- 経営ノウハウのある人の確保・育成
- 次世代への円滑な事業承継



3. 事例調査





3. 事例調査

■みんなが活躍できる場づくりのポイント

- (1) 人と人とのつながりをつくる
- (2) 具体的に存在する場所をつくる
- (3) 稼いで自走できる仕組みをつくる
- (4) 参加者の制限をつくらない



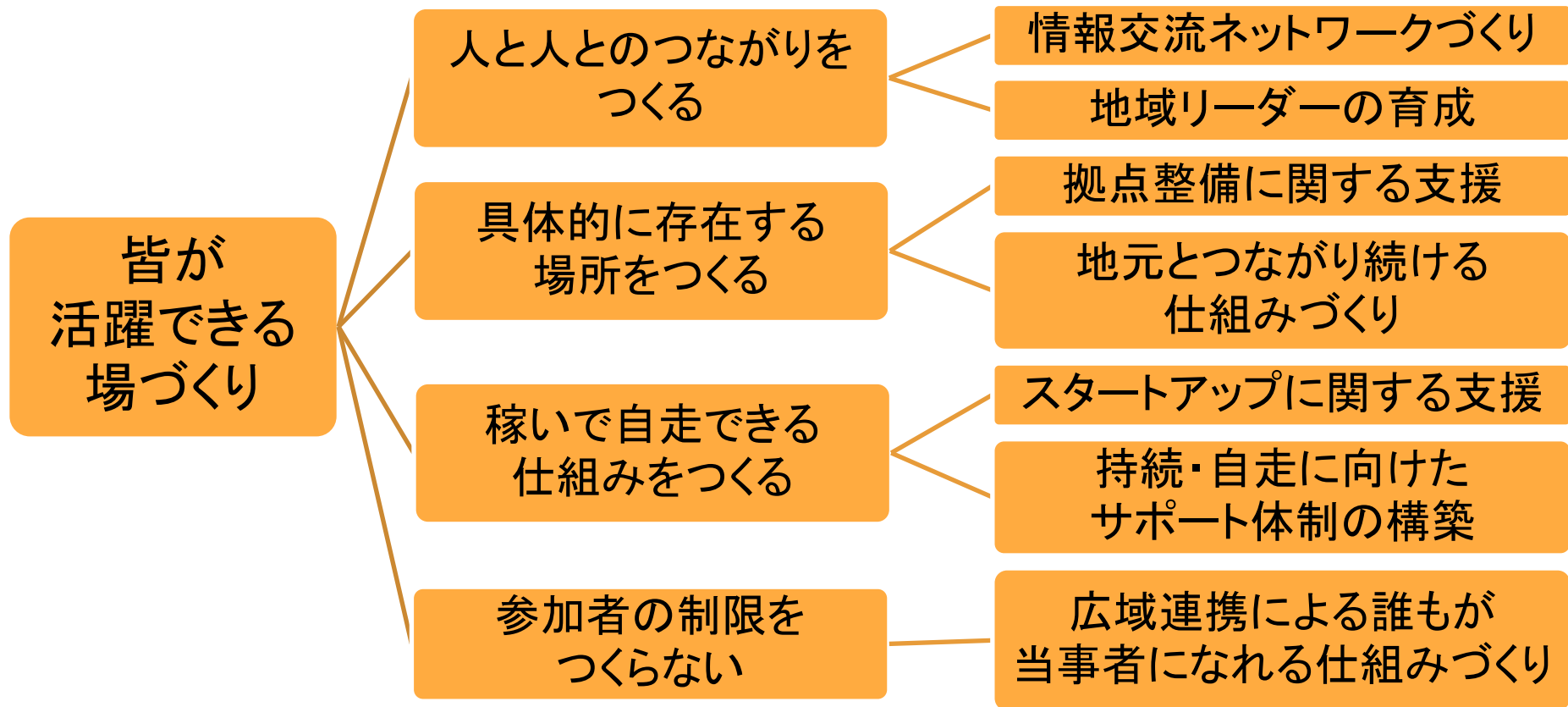
4. 政策提言





4. 政策提言

■ 体系図





4. 政策提言

■ 情報交流ネットワークづくり

利根地域づくり担い手ネットワーク事業

- ・他の担い手に関する情報収集と交流が可能なWEB上のプラットフォームの構築

→TwitterやFacebookなどSNSの活用により可能

- ・行政職員の積極的な参加



4. 政策提言

■ 地域リーダーの育成

利根地域リーダー創造事業

- ・ 利根地域全体を統括するアドバイザーを招へい
- ・ 利根地域振興センターが招へいする
- ・ 各地域の担い手を、自治体内だけでなく
利根地域全体を引っ張るリーダーとして育成



4. 政策提言

■拠点整備に関する支援

地域づくりのための 空き家リノベーション事業

- ・ふるさと創造資金の一メニューとして創設
- ・補助率1/2、上限120万円
- ・各市町の空き家バンクや、地域内の不動産事業者の情報も大いに活用を



4. 政策提言

■ 地元とつながり続ける仕組みづくり

「利根地域つながる会」事業

- ・利根地域の中でも外でも最新情報を得られる場
- ・オンラインで様々なテーマごとに
月に2回程度、平日夜開催
- ・zoomなどのオンライン会議システムを活用
- ・行政職員の積極的な参加



4. 政策提言

■スタートアップに関する支援

利根地域づくりスタートアップ支援事業

- ・行政が担い手に対し地域活動企画提案を募集・採択
- ・地域づくりのための委託事業、委託費150万円
- ・カギとなる高齢者・20代の若者を巻き込む事業



4. 政策提言

■ 持続・自走に向けたサポート体制の構築

稼げる仕組みづくり応援隊派遣事業

- ・地域づくり活動に対する助言・分析・評価などサポート
- ・活動の事業効果を高める人材を派遣
- ・応援隊は活動の実践者、中小企業診断士など



4. 政策提言

■ 広域連携による誰もが当事者になれる仕組みづくり

利根地域だれでもカレッジ事業

- ・ 利根地域内の事業者、学校、行政などが広域連携
- ・ それぞれが持つ知識や経験などを学び合う
- ・ 誰もが当事者として、講師にも参加者にもなれる仕組み
- ・ 座学、実践、オンラインなど開催形式も自由に



5. おわりに





5. おわりに

■残された検討課題

・地域づくりの担い手にとって、「稼げる」とは…？

生業…本業として「稼げる」

生きがい…活動に対するお小遣い感覚で「稼げる」

◎「生きがい」として地域づくり活動に参加する担い手を
いかに創出するか？



ご清聴ありがとうございました！

おかげさす利根

